

# 金沢大学

一般入試（前期日程・後期日程）

# 学生募集要項



# 目 次

- 令和2年度 入学者選抜(一般入試)日程の概要… 3
- 出願方法 [インターネット出願]…………… 4

## 〔共通〕

- 1. 入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)………… 5
- 2. 募集人員……………14
- 3. 入学者選抜……………15
- 4. 出願資格……………15
- 5. 出願手続
  - (1) 出願方法……………16
  - (2) 出願期間……………16
  - (3) 出願書類等……………17
  - (4) 入学検定料の支払……………19
- 6. 障がいのある者等の出願……………20
- 7. 受験票の印刷……………20
- 8. 個人情報の保護……………20
- 9. 問合せ先……………21
- 10. 入試情報の提供……………22
- 11. 入学試験の個人成績の開示……………22
- 12. JAPAN e-Portfolio 学びのデータ……………23

## 〔前期日程〕

- 1. 入学者選抜方法等
  - (1) 入学者選抜方法……………24
  - (2) 併願……………24
  - (3) 2段階選抜の実施 (医薬保健学域医学類)……………24
  - (4) 実施教科・科目等……………25
  - (5) 採点・評価基準 (個別学力検査)……………37
  - (6) 試験期日……………37
  - (7) 試験時間割……………37
  - (8) 試験場……………38
- 2. 合格者発表……………39
- 3. 入学手続……………39
- 4. 欠員補充の方法……………40

## 〔後期日程〕

- 1. 入学者選抜方法等
  - (1) 入学者選抜方法……………41
  - (2) 併願……………41
  - (3) 実施教科・科目等……………41
  - (4) 採点・評価基準 (個別学力検査等)……………48
  - (5) 試験期日……………48
  - (6) 試験時間割……………48
  - (7) 試験場……………48
- 2. 合格者発表……………49
- 3. 入学手続……………49
- 4. 欠員補充の方法……………49

## 〔学生生活〕

- 1. 入学時に必要な経費……………50
- 2. 学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険……………50
- 3. 入学料免除・入学料徴収猶予……………50
- 4. 授業料の納入……………50
- 5. 授業料免除……………51
- 6. 金沢大学学生特別支援制度……………51
- 7. 奨学金……………51
- 8. 学生留学生宿舍……………51
- 9. 学生寮……………52
- 10. 保健管理センター……………52
- 11. 携帯型パソコンの準備……………52
- 12. 申請書類等の請求及び照会先……………53

## 〔キャンパスマップ〕

- 1. 金沢大学所在地略図……………54
- 2. 金沢大学キャンパス配置図……………55

(注)・本入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項及び本学Webサイトを熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。修正及び補足事項も本学Webサイトに掲載します。  
また、不測の事態により、発表内容、試験時間等を変更する場合も本学Webサイトに随時情報を掲載しますので、出願前や受験直前に必ず確認してください。  
・推薦入試、アドミッション・オフィス (AO) 入試、帰国子女入試、国際バカロレア入試及び私費外国人留学生入試については、それぞれの「令和2年度金沢大学学生募集要項」を確認してください。

### 『自然災害により被災された志願者の皆さんへ』

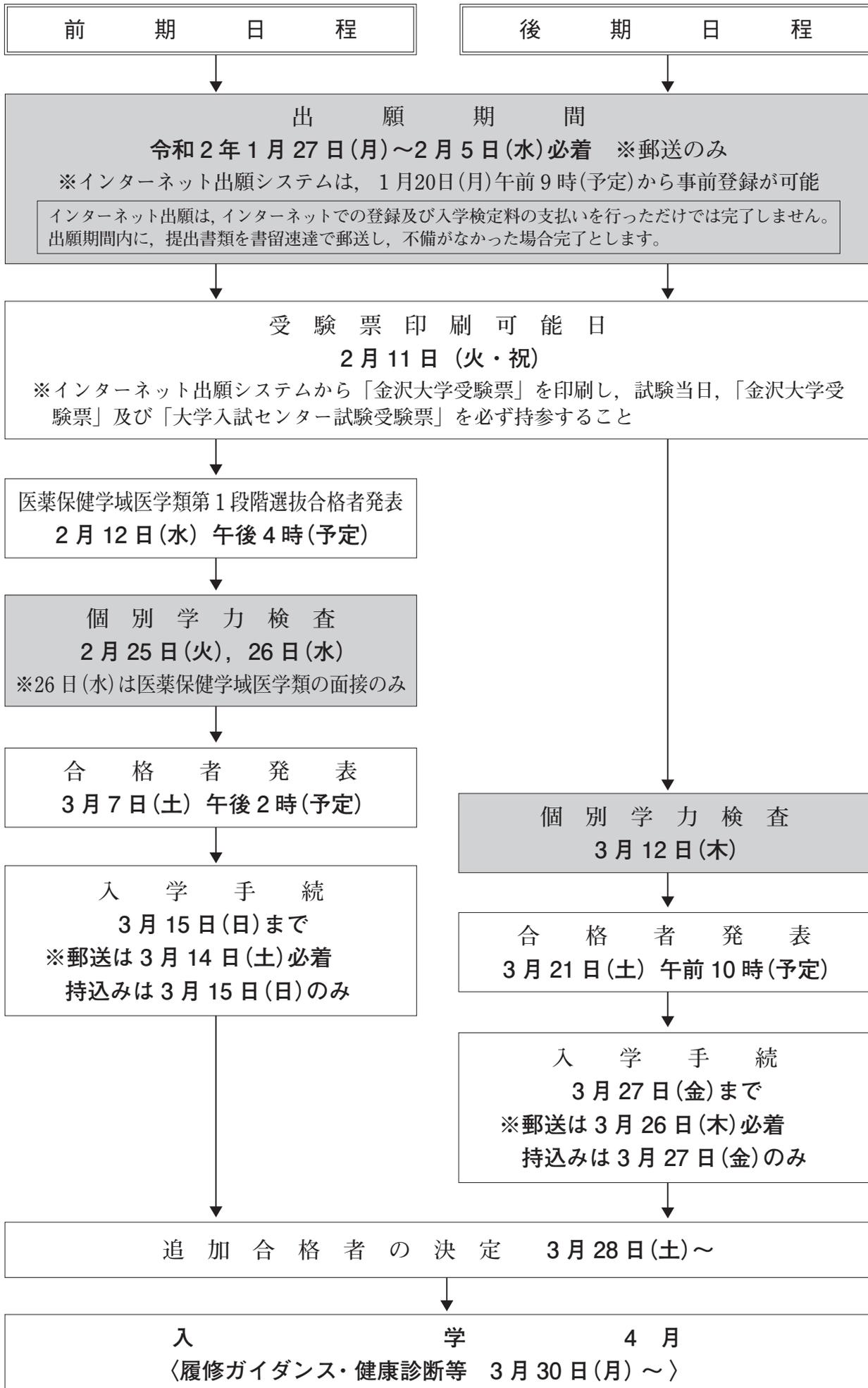
金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学のを確保するため、入学検定料免除の特別措置を講じます。対象となる自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細につきましては、金沢大学 (入試情報) Webサイトを確認してください。

金沢大学 (入試情報) Webサイト : <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>

入学検定料の免除を希望される方は、出願前に本学学生部入試課まで連絡してください。

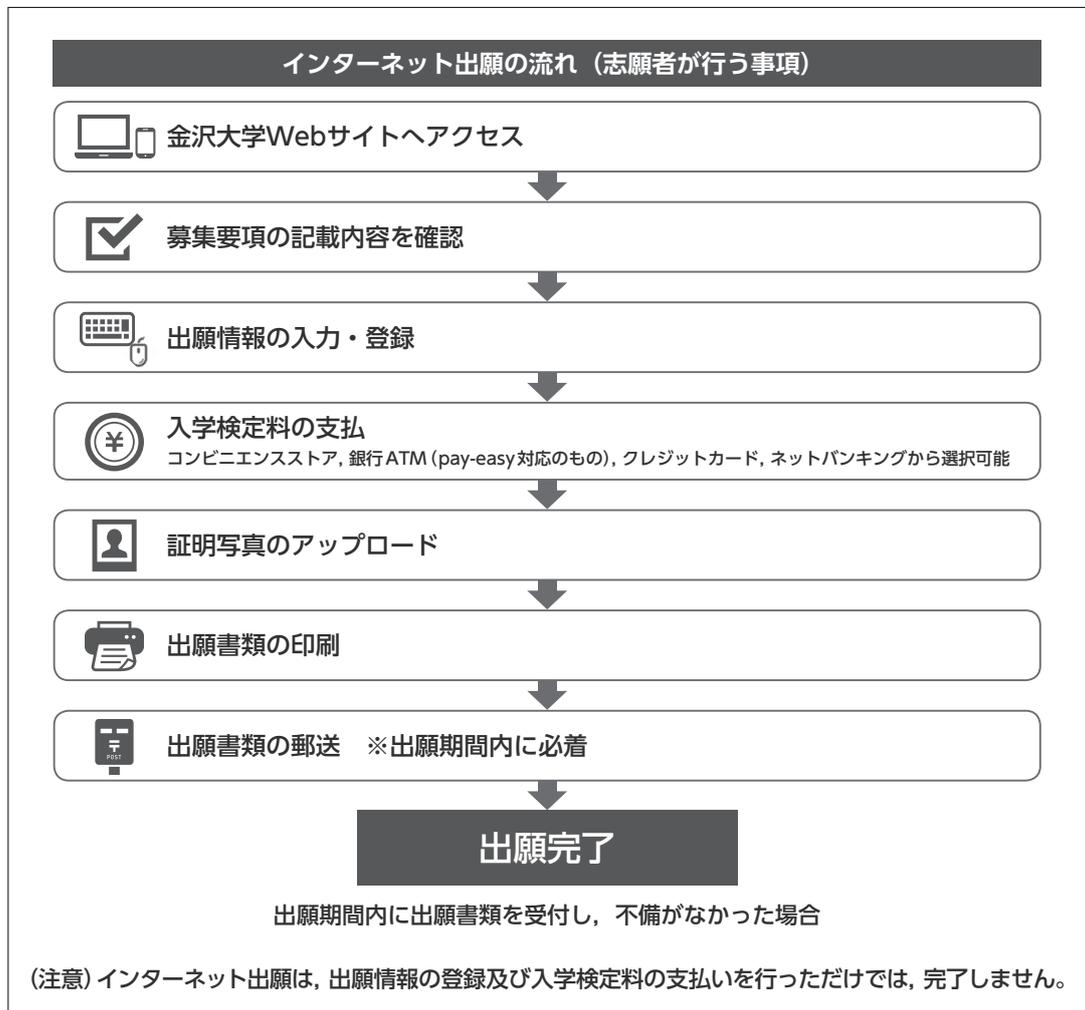


## ■令和2年度 入学者選抜（一般入試）日程の概要



## ■出願方法 [インターネット出願]

金沢大学の出願方法はインターネット出願限定です。  
学生募集要項の紙媒体（冊子）での配布は行いません。



※インターネット出願の詳細は、金沢大学Webサイトを確認してください。

金沢大学（入試情報）Webサイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>



### 《インターネット出願デモサイト》

インターネット出願を体験できるデモサイトを、本学Webサイトに掲載しています。

## 1. 入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

### I 金沢大学アドミッション・ポリシー

#### (1) 金沢大学憲章と教育の理念

1862 (文久2) 年、加賀藩彦三種痘所の設立をもって大学の創基とする金沢大学は、旧制第四高等学校を含む様々な前身校を源流として、1949 (昭和24) 年に新制金沢大学となりました。

150 年以上に及ぶ金沢大学の教育研究と社会貢献は、そのありうべき姿を、現在、金沢大学憲章として明らかにしています。すなわち、金沢大学憲章は、その前文で大学全体の進むべき道をこう宣言しています。

「金沢大学は、本学の活動が21世紀の時代を切り拓き、世界の平和と人類の持続的な発展に資するとの認識に立ち、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の位置付けをもって改革に取り組むこととし、その拠って立つ理念と目標を金沢大学憲章として制定する。」

この憲章に謳われた教育理念とは、以下のものに他なりません。

「金沢大学は、学生の個性と学ぶ権利を尊重し、自学自習を基本とする。また、教育改善のために教員が組織的に取り組むFD活動を推進して、専門知識と課題探求能力、さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材を育成する。」

#### (2) 金沢大学〈グローバル〉スタンダード (KUGS) と求める人材像

さらに、教育の国際化とグローバル人材育成が声高く叫ばれている今、金沢大学は、上に掲げた大学憲章を現在の状況における人材育成方針としてより具体化するために、金沢大学〈グローバル〉スタンダードを定めました。これは、各学域学類のアドミッション・ポリシーの源泉たる、大学全体のアドミッション・ポリシーとなるものです。

#### 金沢大学〈グローバル〉スタンダード (KUGS) (抄)

「本学は、各人の立ち位置に課された人類の一員としての自己の使命を国際社会で積極的に果たし、知識基盤社会の中核的なリーダーとなって、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける能力・体力・人間力を備えた人材を育成する。」

すなわち、金沢大学は、このKUGSに適う資質と能力の開花を少なくとも確かな可能性として示すだけでなく、なによりも、このような人材になろうとする高い志と強い気概をもった人物の入学を期待しています。

### II 学域・学類等のアドミッション・ポリシー

#### 《人間社会学域》

##### 【人文学類】

人文学類では、人間をその行動、思想、歴史、文化、言語、文学といった多彩な観点から考察し深く学ぶことを通じて、人間性と社会性に富む教養と課題発見能力、社会的応用性を備えた専門的知識、的確な自己表現の能力、そして多面的視野と柔軟なコミュニケーション能力を持った人材の育成を目指しています。

##### 求める人材

- ・人間の行動、思想、歴史、文化、言語、文学といった知的営みとその成果に対し深い関心を持ち、勤勉性と忍耐力に裏打ちされた学習意欲を有する人
- ・文献読解から実験、フィールドワークまでを含む人文諸学固有の方法論のあり方を学び、その成果を多様な現代社会の諸課題の解決に活かしたいという意欲を有する人
- ・広い視野を持ち、多様な価値観や伝統、異文化を積極的に理解しようとする態度を有する人
- ・高等学校等で学習する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語について総合的な基礎学力を有する人
- ・国語および英語をはじめとする外国語における文章の読解能力、論理的思考能力、そして的確な表現力を有する人

##### 選抜の基本方針

##### ■一般入試

大学入試センター試験を課して総合的な基礎知識を評価するとともに、人文学類の基本的科目である国語と外国語の能力 (前期日程)、小論文課題による文章読解能力、論理的思考能力、表現力 (後期日程) を評価します。

##### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

人文学類で学び、探究する事柄は、人間に関する様々な事象が対象となりますので、高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力を身につけておくことを望みます。

##### 【法学類】

国内外の社会状況が大きく変化している現代において、法と政治に関する基本的な理念や知識は、個々人が他者と共生していくために不可欠なものとなっています。法学類では、このような認識に基づき、法学・政治学を体系的に学ぶことを通じて、現代社会が抱える諸問題を発見し、将来的課題に取り組む能力を有した人材を養成することを目標としています。

##### 求める人材

- ・大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えている人
- ・国内外の社会問題に関心を持ち、よりよい社会の実現のために貢献したいと願っている人
- ・論理的思考や情報分析を通じて、また、過去の歴史的経緯

をふまえつつ、社会現象の本質を探究したいという意欲のある人

#### 選抜の基本方針

##### ■一般入試

前期日程では、基礎学力に加えて、外国語と国語または数学の能力を評価します。後期日程では、基礎学力に加えて、小論文課題を通じて理解力・論理的思考力・表現力等を重視した評価を行います。

#### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

- ・高等学校で履修した様々な科目の内容について理解していること
- ・法律や裁判例の読解、政治的問題の把握、これらに基づく私見の提示・論述に必要な国語力を十分に修得していること
- ・社会的・国際的諸問題の本質を探究し、その解決を図るために必要な社会科目や外国語科目の学力を十分に修得していること

#### 【経済学類】

経済学類では、多様な社会的課題に対応できる人材の育成を目指し、一般入試に加えて、高校の専門教育を主とする学科又はそれと同等な総合学科からの進学希望者を対象とする推薦入試、および帰国子女入試・国際バカロレア入試・私費外国人留学生入試を設けています。経済分野に対する興味・関心と、勉学に対する強い意欲を持ち、基礎的資質に優れた人材を求めます。

#### 求める人材

- ・経済学・経営学に関する体系的知識を学び、現代社会の諸問題の分析と解決に挑みたい人
- ・国や地域社会の仕事に携わるために必要な専門的知識を身につけたい人
- ・国際的な社会経済の日々の出来事に鋭敏にアンテナを張り巡らせている人
- ・営利・非営利のビジネスに関心を持ち、将来これらのフィールドで活躍したい人

#### 選抜の基本方針

##### ■一般入試

基礎学力に加えて、外国語・数学の能力を重視します。

#### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域においても、国際的な分野においても、人間社会で活躍するためには、国語・英語および情報処理の基本的な力は不可欠です。また経済学類では、特に数学の知識を前提にした授業を履修することを求めます。さらに現代社会の経済およびそこでの日本の位置づけを理解するためには、その前提として地理歴史・公民の知識が必要となります。現代の環境や技術革新の問題を学ぶためには、これと密接に結びついた科学技術の知識が必要であり、理科を学ぶことを望みます。

#### 【学校教育学類】

激しく変動するグローバル社会の中で、これからの学校教育における新たな学びを支える教師には、教科や教職に関する専門的な知識および実践の指導力に加え、絶えず自律的に学び続け、学校を取り巻く現代社会の変化や諸問題を的確に把握し、使命感を持って課題解決にあたる姿勢が求められます。また、様々な社会的背景を持った多様な子どもたちに向き合い、より深く、共感的に理解しつつ、子どもの発達等に関する専門的知見を踏まえながら、一人一人の子どもたちのニーズに応じた対応が求められます。

学校教育学類は、こうした力量を持った義務教育段階の諸学校の教師を組織的、計画的に養成することを主たる目標としており、専門職としての教師への熱意にあふれ、かつ地域における文化の形成に寄与する人材を求めます。

学校教育学類には、教育科学コースと教科教育学コースのもと、教育基礎、特別支援教育、国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、家政教育、英語教育の11の専修があります。各専修への所属は2年進級時に、本人の希望、適性等を総合的に考慮したうえで決定します。

#### 求める人材

- ・自立した専門職としての教師を目指す人
- ・社会、自然、人間、文化、教育について深い関心を持っている人
- ・自分の考えを表明し、他者との対話を通じて、反省的に自己を形成していこうとする人
- ・教育を通じて、地域社会の再生と発展に貢献しようとする意志を持っている人

#### 選抜の基本方針

##### ■一般入試

基礎学力に加えて、英語、そして国語・数学・理科から1教科を課して学力を多元的に評価します。

#### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

学校教育学類では、小学校一種免許状と、中学校一種免許状あるいは特別支援学校教諭一種免許状の取得に必要な科目の履修を卒業要件としていることから、次の3点を望みません。

- ・小学校・中学校・高等学校およびそれらに相当する学校など、これまで在籍してきた学校において教授された知識や技術を確実に獲得しておくこと
- ・大学で専門とする予定の分野に関する興味・関心を深めておくこと
- ・これまでの学校経験を省察するなどして、学校や教師のあり方について自分なりの考えを持っておくこと

## 【地域創造学類】

地域創造学類は、地域の自然的・文化的資源、伝統、人材、資金、社会関係などを専門的に分析把握し、自治を活かした地域固有のスタイルで、住民の健康・福祉・環境・産業・文化・観光を発展させるとともに、新たな価値創出によって地域を再生し活性化するため、質の高い個性ある地域を計画・設計・政策立案する能力を育成します。

地域創造学類には福祉マネジメント、環境共生、地域プランニング、観光学・文化継承の4つのコースがあります。推薦入試以外の学生は、2年次から本人の希望、適性、学業成績等を考慮して各コースに所属します。

### 求める人材

- ・大学での地域創造学の学習に必要な基礎的学力を有している人
- ・地域創造力を修得するために、本を読み、文章を書き、地域に出かけ、能動的に学修する努力を惜しまない人
- ・誰もが生き生きと安心して暮らせる地域づくりとグローバルな共生社会の発展に貢献したい人

### 選抜の基本方針

#### ■一般入試

基礎学力に加え、前期日程では文系・理系科目両面の基本的科目である国語・数学・外国語から2科目を選択し、後期日程では小論文課題から理解力・論理的思考力・表現力等を重視します。

### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域創造学類では、福祉マネジメント、環境共生、地域プランニング、観光学・文化継承の各コースにおいて、専門的総合的に地域創造学を学ぶことから、高等学校で学ぶ教科全般について文系・理系科目両面にわたり理解しておくことを求めます。

また、地域の諸問題を調査・分析し、政策立案できる能力の修得を目指しています。その前提として、地域社会に対して強い関心を持ち、自ら主体的に情報を集め、自分なりの考えをまとめられるようにしておくことを望みます。

## 【国際学類】

国際学類は、実践的な英語などの語学力を活用して、将来、外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人、海外のNPO、NGOで経験を積みたい人、多国籍企業で力を試したい人、外国人に日本語・日本事情を教えたい人、国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な、多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靱な知性と深い共感力、国際的な場におけるコミュニケーションに必要な外国語運用能力、具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際社会、日本・日本語教育、アジア、米英、ヨーロッパの5つのコースがあり、また、国際社会、米英の両コースには、英語だけで卒業できる英語プログラムもあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、適性、学業成績等を考慮のうえ決定します。

### 求める人材

- ・多文化や多民族、及び国際社会における諸問題に積極的な興味を持つ人
- ・自国文化のアイデンティティを常に問い続ける、探究心あふれる人
- ・英語をはじめとする国際的に重要な外国語の実践的な運用能力を高めるために、努力を惜しまない人
- ・探究心とコミュニケーション能力を用いて、諸問題を粘り強く話し合い、国際的な場で相互理解と交渉妥結に達しようとする人
- ・将来、国際的な場での活動への従事を目指す人
- ・外国人に対する日本語教師を目指す人

### 選抜の基本方針

#### ■一般入試

基礎学力に加え、前期日程では国語・英語の学力、後期日程では英語を含む小論文課題の読解力・分析力・思考力・表現力等を重視します。なお、前期日程・後期日程とも、大学入試センター試験の「英語」については、4技能をみる英語外部試験（TOEFL-iBT、IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC（CBTタイプ）、TEAPのいずれか）のスコアを提出することができます。

### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

国際学類では、グローバル化する世界を多様な観点から理解し、異文化との〈しなやかな共生〉を実現することのできる真の国際人を送り出すことを目指しています。この目的の実現のために、本学入学前に「英語」や「政治・経済」、「世界史」、「地理」などの学習に積極的に取り組み、これらの教科の知識を十分に獲得しておくことを望みます。また真の国際人として活躍するためには、自国の歴史・文化についての教養も不可欠です。そこで志願者には、日本理解の基礎として「日本語」（国語）及び「日本史」の学習を強く推奨します。「日本語」での読み・書き・話すことへの能力は、大学で高度な知的訓練を受けるにあたり絶対必要な条件です。ただし、私費外国人留学生入試志願者で、英語プログラムを希望する者は、日本語能力を必要としません。国内外において外国の人々と、積極的にコミュニケーションする意欲をもつことも望みます。入学後の研究テーマによっては、これらに加えてグローバル・イシューに関係する様々な教科を学ぶ必要があります。

## 《理工学域》

## 【数物科学類】

数学、物理学は長い歴史をもつ学問として、互いに大きな影響を与え合いながら発展してきました。また、計算機シミュレーションという新しい研究手段の導入により、これまで困難とされていた複雑な数理や自然現象の理解に大きな進展がもたらされています。それらは自然科学をはじめとする現代のあらゆる科学の基礎を支えています。数物科学類では、21世紀の科学として発展を遂げつつある新しい数学、物理学、計算科学を学ぶことを通じ、国際社会の発展に寄与できる人材を育成します。より具体的には数理的、あるいは物理的なもの見方、思考法及び洞察力を身につけ、教育、情報・通信、金融をはじめ、高度情報化社会の様々な分野で活躍できる人材を育成することが目標です。

1年次では学類共通で基礎的科目を学び、2年進級時に本人の希望にもとづき、数学、物理学、計算科学の3つのコースのいずれかを選択し、より専門的な内容の学修へと進みます。

数物科学類では、数学・物理学の基礎に加えて計算機の技術も学ぶことでバランスのとれた力を身につけることができる特徴があります。科学の基礎分野における問題意識や基本原理を学び、様々な数理・自然現象を説明することができること、最先端の研究開発に応用可能な技術や問題解決能力を身につけること、コミュニケーション能力や表現能力、種々の自然現象を数学・物理の原理に基づいて分析し計算機の助けを借りて解析し、自ら課題を発見して論理的考察を行い、科学的実証により問題を解決することを重視します。

## 求める人材

- ・数学や物理学に興味をもち、それに取り組む熱意と探究心をもっている人
- ・計算機シミュレーション及びそれを用いた科学研究に興味のある人
- ・将来、数学、物理学、計算科学及びそれらの関連分野の研究や教育に携わりたい人
- ・基礎科学をじっくりと学び、それを国際社会の発展に活かしたいと考えている人

## 選抜の基本方針

## ■一般入試

基礎学力に加え、前期日程では数物科学類にとっての基本的科目である数学・理科及び英語の学力、後期日程では数学・物理の学力を重視します。

## 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等の課程において、5教科7科目（数学、理科、外国語、国語、地理歴史・公民）又はそれに相当する科目を学び、そこで学修したことを十分に身につけておくことが必要です。

## 【物質化学類】

化学は自然界で起こる様々な現象の原子・分子レベルでの理解から、21世紀に必要とされる環境に適合した新しい機能性物質の創製、さらに日常生活を支える様々な化学製品の開発と製造過程に至るまでの幅広い領域を含んでいます。物質化学類では、化学を通じて人類が自然と共生しながら持続的に豊かに生きるための科学・科学技術・文化の発展と充実に貢献し、社会のグローバル化を積極的に担える理学及び工学的素養を身につけた人材の育成を目標としており、“独自に考える力”と“未知の分野に対する強い探究心とチャレンジ精神”の旺盛な人の入学を期待します。

物質化学類には化学と応用化学の2つのコースがあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

## 求める人材

- ・自然現象の観察と実験に強い興味を持ち、実験を通して創造的に自然と関わりたい人
- ・独自に考える力と自然に対する好奇心を持ち、発見の感動を味わいたい人
- ・研究を通して得た成果を世界に向けて発信し、社会や自然界へ応用することに意欲がある人

## 選抜の基本方針

## ■一般入試

基礎学力に加え、前期日程では物質化学にとっての基本的科目である数学・化学及び英語の学力、後期日程では化学の知識・理解度を重視します。

## 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）について十分に理解できていることが必要です。さらに、化学を含む理系科目（理科、数学）は理学・工学の基礎となる科目ですので非常に重要です。文系科目（国語、外国語、社会系科目（地理歴史・公民））も自分の意見をまとめコミュニケーションを行うために必要です。また、高校生活の中で、日常的な科学現象に興味を持ち、それらを意欲的に探究する姿勢を身につけてください。

## 【機械工学類】

機械工学類では、技術者・研究者として、安全で安心な生活を支え、かつ、向上をもたらす様々な工業製品から、最先端技術の開発に至るまでを対象とした、先進的な設計技術、超精密加工、高度なシミュレーション技法の研究、さらに、エネルギー問題の解決に取り組み、ものづくりのリーダーとして国際的に広く活躍する人材を育成します。そのために、機械工学の基盤となる物理学・数学を積極的に取り入れ、基礎学力の上に立脚した应用能力を涵養し、先端的な教育・研究を通して技術革新を担う能力を育成します。また、自己を知り自己の人間力や表現力を高めるため、倫理・環境に関する教育・研究を実施して工学のみならず社会の調和に貢献し得る人間力を養成します。

本学類は、物理学・数学を駆使し、原子・分子レベルから、巨大構造までを対象とした最適設計法、超精密加工技

術、新素材の開発など、未知の領域に挑む分野から、環境に配慮した新エネルギーやエンジンの開発など、自然の保護と持続に貢献する分野まで、広く興味を持つ人材の入学を期待します。

#### 求める人材

- ・先端機械工学への興味、モノづくりへの熱意、人間支援に対する高い志を持ち、講義、実験や実習、さらには研究に積極的に参加して行動できる人
- ・技術倫理についての自覚を持ち、地球環境への関心が高く、グローバルな視野の拡大と国際的コミュニケーション能力の向上に意欲を持つ人
- ・独創性と創造性があり、自ら問題点を解決する意欲を持つ人

#### 選抜の基本方針

##### ■一般入試

前期日程では、機械工学類とフロンティア工学類と電子情報通信学類の選抜を一括して行います。この一括入試では基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。入学後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路をみつけていく経過選択制を導入しており、各学類への所属は2年次からとします。出願時に所属を希望する学類がある場合は1つだけ優先配属を申請でき、優先配属は入試成績により決定します。ただし、優先配属が決定した場合でも、2年進級時に優先配属を辞退して、他の2学類を再希望することができます。

#### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入試センター試験で課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般入試の個別学力検査で課している科目（数学・理科・英語）について、十分理解しておくことが必要です。また、身の回りの“モノづくり”の仕組みから日常的な科学現象まで、幅広い興味と探究心を持つことを望みます。

#### 【フロンティア工学類】

本学類では、機械工学、化学工学、電子情報工学の知と技を結集した最先端の教育及び研究を通して、ナノの世界から宇宙空間や人間社会にわたるまでの様々な未踏領域を切り拓き、グローバルな観点から、工学の飛躍的な発展と、近未来社会の創造を牽引していくエンジニアや研究者の育成を目指します。具体的には、ロボティクス、航空宇宙工学、高度センシング技術、ナノテクノロジー、新機能性材料など技術革命をもたらす先進的な分野から、医療福祉工学、生活支援機器、化学製品など生活や社会の調和と発展をささえる分野まで、広く興味を持つ人材を受け入れます。本学類ではコース制は採用せず、電子機械、機械、化学工学、電子情報の4つのコアプログラムと、知能ロボティクス、バイオメカトロニクス、マテリアルデザイン、計測制御システムデザイン、ヒューマン・エコシステム、ナノセンシングの6つのフロンティアプログラムを組み合わせ履修します。

#### 求める人材

- ・ロボティクス、航空宇宙、スマートビークル、スマートセンシング、インテリジェント制御、ナノスケール計測、高分子、微粒子材料の開発など、新たな技術や学問分野の開

拓に意欲を持つ人

- ・メカトロニクス、医療福祉工学、物質システムを中心とした、機械工学、電子情報工学、化学工学の分野でエンジニア、研究者、教育者の道に進みたい人
- ・グローバルな視点からの技術革新を通じて、次世代の社会を創造していく技術の構築に高い志を持つ人
- ・人間性、独創性と創造性が豊かで、自ら問題点を解決する意欲を持つ人

#### 選抜の基本方針

##### ■一般入試

前期日程では、機械工学類とフロンティア工学類と電子情報通信学類の選抜を一括して行います。この一括入試では基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。入学後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路をみつけていく経過選択制を導入しており、各学類への所属は2年次からとします。出願時に所属を希望する学類がある場合は1つだけ優先配属を申請でき、優先配属は入試成績により決定します。ただし、優先配属が決定した場合でも、2年進級時に優先配属を辞退して、他の2学類を再希望することができます。

#### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入試センター試験で課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般入試の個別学力検査で課している科目（数学・理科・英語）について、十分理解しておくことが必要です。また、身の回りのモノづくりや製品の仕組みから日常的な科学現象まで、幅広い興味と探究心を持つことを望みます。

#### 【電子情報通信学類】

本学類が対象とする分野は、持続的発展可能で高度に情報化された未来社会を創造する電気電子技術（EET）と情報通信技術（ICT）からなります。本学類は、電気エネルギー創成・変換、ナノテクノロジー、光・電子デバイス、宇宙探査、セキュリティ、人工知能、IoT（Internet of Things）、ビッグデータ、クラウドコンピューティングなどに興味がある人材の入学を期待しています。

本学類には電気電子及び情報通信の2つのコースがあります。地球的視点や技術者としての高い倫理観を有し、電気電子・情報通信分野の未来の課題に対する解決能力を有する自立した技術者・研究者を養成します。

#### 求める人材

- ・エネルギー、エレクトロニクス、情報通信に関する技術を身につけて国内外の幅広い分野で活躍したい人
- ・科学実験やコンピュータなどに関心があり、電気電子・情報通信分野の未来の課題を見つけて創意工夫したい人
- ・数学が得意な人、物理学、数学の応用に積極的に取組みたい人

#### 選抜の基本方針

##### ■一般入試

前期日程では、機械工学類とフロンティア工学類と電子情報通信学類の選抜を一括して行います。この一括入試では基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物

理・英語の学力を評価します。入学後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路をみつけていく経過選択制を導入しており、各学類への所属は2年次からとします。出願時に所属を希望する学類がある場合は1つだけ優先配属を申請でき、優先配属は入試成績により決定します。ただし、優先配属が決定した場合でも、2年進級時に優先配属を辞退して、他の2学類を再希望することができます。

#### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入試センター試験で課している科目においては、理系科目及び文系科目ともに重要であるため、確実に修得しておくことを望みます。また、一般入試の個別学力検査で課している科目（数学、物理、英語）については、入学後の本学類における授業及び研究の基礎として非常に大切ですので、しっかりと学び、身につけておくことを求めます。

#### 【地球社会基盤学類】

本学類では、共通教育としての金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）に基づき、グローバル社会をリードする人材育成のため、われわれ人類の生存基盤となる地球、日常生活基盤となる社会、及びそれらを取り巻く環境を対象に、理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につけるため、地球惑星科学・環境科学や環境工学、土木工学、防災工学、都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識に基づく総合的・実践的な教育・研究を行い、地域からグローバルまでさまざまな局面において、社会をリードする研究者・技術者・教育者を養成します。科学的探究心に富み、これらの分野の専門知識を生かして活躍したいと考えている学修意欲のある人の入学を期待します。本学類には、地球惑星科学、土木防災、環境都市の3つのコースがあり、各コースへの配属は2年後期開始前に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

#### 求める人材

- ・自然現象に対する科学的探究心のある人
- ・人文社会科学にも関心のある理系人間
- ・実験・野外調査や、ものづくり・創意工夫に興味のある人
- ・地域・我が国・世界の自然災害や防災・減災に関心のある人
- ・地球惑星科学、環境科学及び社会基盤工学の専門家や研究者になりたい人
- ・地球・環境・都市の課題に対し、科学技術を通じた社会貢献がしたい人
- ・都市や社会を支えるための科学技術に関心がある人

#### 選抜の基本方針

##### ■一般入試

基礎学力に加え、理系基礎科目である数学、理科及び英語の学力を重視します。また、理系科目だけではなく国語や地理歴史・公民を含む幅広い能力も評価します。

#### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目を含む）について、しっかりと身につけておくことが必要です。特に、理系科目である数学、理科、また英語に

ついては、応用能力を含め、しっかりと身につけておくことが必要です。また、総合的な学力を身につけるために、理系のみならず、人文社会系科目の学修も勧めます。

#### 【生命理工学類】

「生命」は21世紀の最重要キーワードといわれており、様々な生物についてシステムとしての理解が急速に進みつつあります。本学類では、生命に関する真理の探求を目指す生命科学、産業応用と技術開発を目指すバイオ工学、それらをコンピュータの力で拡張し加速する生命情報学の観点から、グローバル社会を牽引する研究者、技術者、さらには生命に関する最先端の知識を備えた人材の育成に貢献できる教育者を養成します。本学類では、新分野を切り開く学術的探究心に富み、理学と工学の専門知識を活かして活躍したいと考えている学習意欲のある人の入学を期待します。

本学類には生命システム、海洋生物資源、バイオ工学の3つのコースがあります。また、各コースへの所属は、2年後期開始時に本人の希望と学業成績等を考慮のうえ決定します。

#### 求める人材

- ・生命現象に対して興味を持ち、理科系科目が得意で、実験や野外調査が好きな人
- ・日本海の海洋生物資源の持続的な有効利用と増養殖に興味がある人
- ・基礎生物学、分子生物学、進化生物学、生態学、システム生物学、遺伝子工学、バイオ工学、バイオリファイナリー、生命情報学、環境科学、多様性生物学、海洋生物学、保全生物学などの分野で専門家や教育者の道に進みたい人
- ・生命科学やバイオ工学の分野で、新しい価値の創造や技術革新を目指したい人
- ・理学と工学の基礎知識を備えて、グローバル社会をリードし、生命・バイオ・海洋資源・環境分野で活躍したい人

#### 選抜の基本方針

##### ■一般入試

基礎学力に加え、生命科学の基本的科目である数学、理科、外国語（特に英語）の学力を評価します。これらに加え、前期日程では国語や地理歴史・公民を含む幅広い能力を重視します。

#### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目を含む）について、しっかりと身につけておいてください。生命科学の基本的科目である数学、理科、英語については、応用能力を含め特にしっかりと身につけておいてください。また、自然科学全般に広く興味を持って勉強しておいてください。

## 《医薬保健学域》

### 【医学類】

医学類は、従来の医学部医学科に相当し、卒業者は医師国家試験の受験資格を与えられ、合格することによって医師としての資格を得ることになります。

その上で、医学類では、社会の変化に適応しつつ、多様かつ高度な医療ニーズに応え、プロフェッショナルな医師として成長・発展することが期待できる人材を受け入れます。

#### 求める人材

明確な目的意識と強い使命感を有し、知識や技能の習得能力、論理的及び倫理的な思考力、協調性を有する人材を求めて選抜を行います。

#### 選抜の基本方針

選抜の方法としては筆記試験、面接試験等を行います。医学では幅広い正確な知識とそれに基づいた合理的な思考力が必要とされるため、高等学校等で学ぶ教科全般について高いレベルの基礎的な知識と、単なる知識ではない理解力・思考力を全教科にわたり、偏りなく身につけておくことが望まれますが、特に理数系科目に重点を置き、筆記試験においてその能力を測ります。また、自己表現能力、課外活動（ボランティア、部活、生徒会活動等）の経験などを通じて得られた多様な人々と協働して学ぶ態度（協働性）、やり遂げる力（継続力）等を面接試験で評価します。

### 【薬学類】

一般入試（前期日程）においては、薬学類・創薬科学類を一括して募集を行い、共通する基礎・専門科目や早期体験等の初期学修を経た後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を決定する経過選択制を導入しています。

#### 求める人材

- ・国内外の大学・研究機関において、医療の進歩につながる基礎・応用研究を行い、次世代を担う人材を育成する薬学教育・研究者を志す者
- ・高度な専門性を活かし、人類の健康増進や医薬品等の適正使用、創製を通じて社会に貢献することを志す者
- ・先進的医療や薬剤師教育に主体的に取り組む医療従事者や、衛生行政従事者を志す者

#### 選抜の基本方針

##### ■一般入試

高等学校での高いレベルの基礎学力と、特に理数英科目での秀でた学力を身につけた人材を選抜します。

#### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修する科目（大学入試センター試験で課している科目）について、しっかり理解することを求めます。特に、理数英科目の高い基礎学力と理解力が必須です。

### 【創薬科学類】

一般入試（前期日程）においては、薬学類・創薬科学類を一括して募集を行い、共通する基礎・専門科目や早期体験等の初期学修を経た後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を決定する経過選択制を導入しています。

#### 求める人材

- ・国内外の大学・研究機関において、医療の進歩につながる基礎・応用研究を行い、次世代を担う人材を育成する薬学教育・研究者を志す者
- ・製薬企業等の研究所において、病気で苦しむ世界中の人々を救う医薬品等の創製に携わることを志す者
- ・人類の健康維持増進に取り組む国内外の衛生行政機関等において、主導的役割を果たすことを志す者

#### 選抜の基本方針

##### ■一般入試

高等学校での高いレベルの基礎学力と、特に理数英科目での秀でた学力を身につけた人材を選抜します。

#### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修する科目（大学入試センター試験で課している科目）について、しっかり理解することを求めます。特に、理数英科目の高い基礎学力と理解力が必須です。

### 【保健学類】

保健学類は、「保健・医療・福祉における科学的な知識・理論・技術の修得と課題探究能力を養成し、豊かな教養と人間性を備えた高度専門医療人と保健学研究者を育成し、国民の医療・福祉の発展に寄与すること」を基本理念とします。教育目標は、1) 現代社会の抱える諸問題を総合的に洞察できる能力の育成、2) 日本語・外国語による討議・発表能力の育成、3) 保健学における基礎的知識と専門的知識・技術の修得、4) 保健学の知識・技術を活用した課題探究能力の育成、5) 豊かな人間性と高い専門職業人としての倫理観など医療人としての社会的使命感の涵養、6) 学際的保健学知識の統合による教育・研究能力の育成です。

保健学類では、国家試験受験資格の取得のためのカリキュラム編成が行われており、このため募集単位は看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の5専攻を設けます。

##### 【看護学専攻】

看護科学は、人間の誕生から死までを包括的に捉え、人々が、グローバル化する社会、多様な環境に適応しながら健康的に質の高い生活を送ることを支援する学問です。看護学専攻では、健康に関わる知識と技術を体系的に学習します。さらに、学内及び学外の医療、保健及び福祉現場での実習を通じて、高い倫理観、専門職としての使命感、医療チームの一員としての責任を学びます。また、研究やゼミを通し、将来の看護科学を担う者として幅広い科学的知識、問題解決方法などを学び、将来の進歩や変化に対応するための能力を養うと同時に、看護実践力のある指導者、教育者、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、看護師、\*保健師の国家試験受験資格を取得す

ることができます。

※保健師課程については、平成26年度入学生から選択制としています。

保健師として将来就職を希望する学生（最大50名：学類学生45名、編入学生5名）で、所定の科目を履修し、その単位を修得した者のみが、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

### 【放射線技術科学専攻】

放射線技術科学は、放射線、磁気、超音波を使用した医療機器の原理や特性、情報処理技術、各種の医療画像形成法、人体の形態、機能並びに医薬品に対する生物学的な特性などを修得する学問です。診療放射線技師となるために必要な専門技術を修得するとともに、医療や放射線機器の進歩に対応できる能力を養います。また、研究室配属を通じて、将来の放射線技術科学を担う課題探求能力や、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、診療放射線技師の国家試験受験資格を取得することができます。

### 【検査技術科学専攻】

検査技術科学は、主に病気の診断や治療効果判定に対して重要な情報を提供する臨床検査を学習する学問です。本専攻では臨床検査に関わる知識と専門技術を体系的に獲得し、医療現場での実習を通じて医療チームの一員である専門技術者としての役割を学びます。また、研究室配属を通じて、進歩する医療科学を担う深い科学的考察や革新的技術などを取得する能力を養います。卒業時には臨床検査技師の国家試験受験資格を取得することができます。

### 【理学療法学専攻】

理学療法学は、リハビリテーション医療の一専門分野です。種々の疾患や事故などにより、神経、筋、骨格、循環器、呼吸器などに損傷や障がいをもたらした人に対して、運動療法や物理療法を駆使して治療に当たります。理学療法学専攻では、理学療法士となるために必要な治療技術を科学的、実践的に修得するとともに、医療人としてあるべき人間性を育成します。卒業時には、理学療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

### 【作業療法学専攻】

作業療法士として必要な知識、技術、コミュニケーション能力を修得し、専門職としての能力を高め、研究する態度をもつ人材を養成します。本学の作業療法教育は脳機能解析学や運動器障がいをはじめ、生活能力回復学の領域において幅広い分野の専門教員の下に行われています。作業療法の技術科学を修得し、研究を進め、技術を開発し、社会に役立ちたい人の入学を希望します。卒業時には、作業療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

## 求める人材

### 【看護学専攻】

- ・看護の専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことができる人
- ・人間の健康、医療問題に対して国際的視野で貢献したいと強く願う人
- ・保健の分野で、新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人

- ・看護学及び看護の進歩のために、将来のリーダーとなる夢を持つ人

### 【放射線技術科学専攻】

- ・診療放射線技師として保健医療を支えることができる有能な人
- ・高度先進医療に対応し常に努力することができる人
- ・専門的な知識を習得するのみならず研究・思考することができる人
- ・患者の立場に立って行動・発言できる豊かな人間性を持つ人

### 【検査技術科学専攻】

- ・病める人に対する医療のために、知識や専門技術を高め、社会に貢献する情熱を持つ人
- ・医療科学の分野で新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・臨床検査技術の進歩に貢献し、将来のリーダーとなる夢を持つ人

### 【理学療法学専攻】

- ・豊かな人間性と愛情を持ち、学習意欲の高い人
- ・社会のニーズに応え、努力を惜しまない人
- ・理学療法学の今後を担い、人類社会に貢献できる人

### 【作業療法学専攻】

- ・たゆまず努力して、自分の能力を高めようとする人
- ・専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の新たな能力を引出し活用する作業療法を修得し発展させたい人

## 選抜の基本方針

### ■一般入試

基礎学力に加え、前期日程（全専攻）では、看護学・理学療法学・作業療法学の3専攻は理科及び英語の学力、放射線技術科学・検査技術科学の2専攻は数学・理科及び英語の学力、後期日程（3専攻）では面接試問での理解力・表現力・勉強意欲・資質適性等を重視します。

## 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

### 【看護学専攻】

論理的思考力・表現力を身につけるため、文系科目と理系科目の幅広い基礎学力の習得を望みます。

### 【放射線技術科学専攻】

科学的な視点で事象を理解するための基礎的な知識が必要であり、理科・数学を学んでおくことを望みます。また、文章を正確に読解し、事象に応じた的確に記述する国語・英語力の習得を望みます。

### 【検査技術科学専攻】

種々の臨床検査技術における基礎となる理論や科学的考察には、数学、物理、化学及び生物学の考え方や知識が必要で、高等学校においてこれらの教科の履修を望みます。また、情報収集及び発信に必要な英語の力を求めます。

### 【理学療法学専攻】

高等学校までに学ぶ国語、社会、数学、理科、英語につ

いて十分な基礎学力を身につけておくことが重要です。

**【作業療法学専攻】**

理系科目と文系科目の均衡がとれた幅広い基礎学力の習得を望みます。

**《後期一括入試》**

**【文系後期一括，理系後期一括】**

金沢大学では、「専門知識と課題探求能力，そして国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材の育成」を大学憲章において教育目標に掲げています。さらに金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）では，科学的な世界観と歴史観，論理的展開力，己を磨く人間力，創造力，そして日本文化・異文化に対する深い理解力を備え，知識基盤社会の中核的リーダーとなって挑戦し続ける人材の育成に努めることを謳っています。金沢大学は，上述の目標と大学に求められる社会的役割を踏まえ，入学後の学修，研究に必要な基礎学力を有し，さらに豊かな教養の涵養，高い専門性の修習を目指す学生が入学することを期待します。

特に文系後期一括，理系後期一括入試においては，様々な分野にまたがって強い興味と関心を持ち，幅広い分野に触れて自らの視野を広げながら主体的に学ぶ熱意があり，かつ，積極的に課題を発見して取り組む意欲のある人を受け入れます。

後期一括入試で入学した学生は，国際基幹教育院総合教育部に1年間所属し，文系の場合は人文科学・社会科学に関する分野を，理系の場合は自然科学に関する分野を広く学び，2年進級時に，本人の志望，学業成績等を考慮の上，文系の場合は人間社会学域の中から，理系の場合は理工学域もしくは医薬保健学域（薬学類を除く）の中から移行する学類（保健学類の場合は専攻）を決定します。

**求める人材**

- ・ 多様な分野にまたがり強い興味と関心を持つ人
- ・ 幅広い分野に触れて自らの視野を広げながら主体的に学ぶ熱意がある人
- ・ 積極的に課題を発見して取り組む意欲のある人
- ・ リーダーシップと協調性を持つ，あるいはこれからそれらを身につけることを目指す人
- ・ 意思決定に伴う責任を自覚した上で，客観的かつ科学的な状況分析を心がける人

**選抜の基本方針**

**■一般入試**

文系後期一括入試では，基礎学力に加え，総合的な課題（総合問題）の理解力・論理的思考力・表現力等を重視します。総合的な課題（総合問題）には英語を含む場合があります。

理系後期一括入試では，数学及び英語の基礎学力に加え，物理もしくは化学の学力を重視します。

**入学までに身につけて欲しい教科・科目等**

高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力・表現力を身につけておくことを望みます。

## 2. 募集人員

学域・学類等		入学定員	募 集 人 員 (注1, 2)					備考					
			一 般 入 試			推薦入試	アドミッション・オフィス(AO)入試		帰国子女入試	国際バカロレア入試	私費外国人留学生入試		
			前期日程	後期日程									
		後期日程		後期一括入試 (注3)									
人間社会学域	人文学類	145	100	32	文系 62 移行人数 人文学類 13 法学類 15 経済学類 15 学校教育学類 2 地域創造学類 10 国際学類 7	—	—	若干名	若干名	若干名			
	法学類	170	L方式	70		30	10	—	若干名	若干名	若干名	(注4)	
			M方式	45									
	経済学類	135	110	—			10	—	若干名	若干名	若干名		
	学校教育学類	100	64	—			34	—	—	若干名	若干名		
	地域創造学類	90	55	10			15	—	若干名	若干名	若干名		
	国際学類	85	48	15			15	—	若干名	若干名	若干名		
計	725	492	87		84	—	—	—	—				
理工学域	数物科学類	84	64	12	理系 82 移行人数 数物科学類 8 物質化学類 8 機械工学類 10 フロンティア工学類 20 電子情報通信学類 8 地球社会基盤学類 10	—	—	若干名	若干名	若干名			
	物質化学類	81	55	18		—	—	若干名	若干名	若干名			
	機械工学類	100	252	—		—	—	—	—	—			
	フロンティア工学類	110	(3学類前期一括入試*)			—	—	—	—	若干名	若干名	若干名	(注5)
			移行人数										
	電子情報通信学類	80	機械工学類	90		—	8	—	—	—	—	—	
			フロンティア工学類	90									
	電子情報通信学類	80	電子情報通信学類	72									
地球社会基盤学類	100	78	12		—	—	若干名	若干名	若干名				
生命理工学類	59	50	—		—	—	若干名	若干名	若干名				
計	614	499	42		—	—	—	—	—				
医薬保健学域	医学類(6年制)	100	84	—	医学類 1 創薬科学類 2 保健学類 看護学専攻 1 放射線技術科学専攻 1 検査技術科学専攻 2 理学療法学専攻 1 作業療法学専攻 1	15	—	若干名	—	若干名	(注6)		
	薬学類(6年制)	35	—	—		—	3	若干名	若干名	若干名	(注7)		
	創薬科学類	40	64	—		—	6	若干名	若干名	若干名			
	保健学類	看護学専攻	80	55		9	1	15	—	若干名	若干名	若干名	
		放射線技術科学専攻	40	29		5	1	5	—	若干名	若干名	若干名	
		検査技術科学専攻	40	29		3	2	6	—	若干名	若干名	若干名	
		理学療法学専攻	20	15		—	1	4	—	若干名	若干名	若干名	
		作業療法学専攻	20	14		—	1	5	—	若干名	若干名	若干名	
	小計	200	142	17			35	—	—	—	—		
	計	375	290	17			50	9	—	—	—		
合計	1,714	1,281	146		144	134	9	—	—	—			

\*「理工3学類(機械工学類, フロンティア工学類, 電子情報通信学類)前期一括入試」の略称

- (注) 1. 前期日程の募集人員には、帰国子女入試、国際バカロレア入試及び私費外国人留学生入試の募集人員を含みます。  
 2. 推薦入試、アドミッション・オフィス(AO)入試、帰国子女入試、国際バカロレア入試及び私費外国人留学生入試の合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。  
 3. 文系後期一括入試及び理系後期一括入試は「後期日程」で実施します。  
 入学者の移行先は、文系後期一括入試においては、人間社会学域各学類とし、理系後期一括入試においては、理工学域及び医薬保健学域各学類(医薬保健学域薬学類を除く)とします。各学域・学類への移行は2年次からとします。  
 また、1年次は国際基幹教育院総合教育部に所属します。  
 4. 法学類の一般入試(前期日程)のL方式は個別学力検査で国語と外国語を受験する方式、M方式は個別学力検査で数学と外国語を受験する方式です。  
 5. 機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類の一般入試(前期日程)は、3学類一括で実施します。各学類への移行は2年次からとします。  
 6. 医学類推薦入試(特別枠)の募集人員は文部科学省へ申請中のため、確定後、金沢大学(入試情報)Webサイト(<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>)でお知らせします。  
 7. 薬学類(6年制)、創薬科学類(4年制)の一般入試(後期一括入試を除く)、帰国子女入試、国際バカロレア入試及び私費外国人留学生入試の選抜は一括で実施します。各学類への配属(薬学類32名、創薬科学類32名)は3年次後期からとします。

### 3. 入学者選抜

本学における一般入試は、分離分割方式（前期日程・後期日程）で行います。

ただし、経済学類、学校教育学類、機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類、生命理工学類、医学類、薬学類・創薬科学類、保健学類理学療法学専攻及び作業療法学専攻は前期日程のみです。

後期一括入試（文系後期一括、理系後期一括）は後期日程で実施します。

後期一括入試に関する詳しい情報は、金沢大学 Web サイトから「文系後期一括、理系後期一括」入試案内を確認してください。

金沢大学（入試情報）Web サイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/boshuyoko>

### 4. 出願資格

次のいずれかに該当し、令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験において、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目（前期日程は25～36ページ「1. 入学者選抜方法等」の「(4) 実施教科・科目等」、後期日程41～47ページ「1. 入学者選抜方法等」の「(3) 実施教科・科目等」）を受験した者\*

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (4) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの

上記(4)により出願する場合は、出願に先立ち「金沢大学入学資格審査申請要領」により入学資格審査を行います。

申請期間 令和2年1月6日(月)～1月17日(金)(必着)

申請先 下記あて郵送にて申請してください。審査結果は、令和2年1月26日(日)までに通知します。

金沢大学学生部入試課入学試験係

〒920-1192 金沢市角間町

電話 076-264-5169, 5177～5179 (平日午前9時から午後5時まで ※祝日、夏季休業及び年末年始を除く)

FAX 076-234-4042

E-mail [boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp)

(注)「金沢大学入学資格審査申請要領」は、金沢大学 Web サイトを確認してください。

金沢大学（入試情報）Web サイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/sinsa/>

※ 大学入試センター試験において、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ、出願無資格者となります。その場合は、個別学力検査等を受験できません。

#### 【参考】学校教育法施行規則第150条

学校教育法第90条第1項の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 1 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 3 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 4 文部科学大臣の指定した者
- 5 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 6 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学させる大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 7 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

## 5. 出願手続

本学の一般入試（前期日程・後期日程）の志願者は、次の手続により出願してください。

### (1) 出願方法

- インターネット出願の流れ



インターネット出願により行います。出願完了には下記①～⑤のすべての手続が必要です。

- ① インターネットによる出願情報の登録
- ② 入学検定料の支払  
入学検定料 17,000円
- ③ 証明写真のアップロード
- ④ 出願書類等の印刷
- ⑤ 出願書類等の郵送

インターネット出願登録サイトへは、金沢大学（入試情報）Webサイト（<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>）からアクセスできます。

出願書類等を郵送する際は、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に、インターネット出願登録サイトからA4サイズでカラー印刷した宛名ラベルを貼り、書留速達で郵送してください。

提出先 〒920-8799 日本郵便株式会社金沢中央郵便局留 金沢大学学生部入試課（宛名ラベルに印字されています）

#### 〈注意〉

インターネット出願は、インターネットでの登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは完了しません。

出願期間内に、写真のアップロード及び17～18ページの提出書類を郵送（令和2年2月5日（水）までに必着）し、不備がなかった場合完了とします。

#### 〔出願に当たっての注意事項〕

- ① 大学入試センター試験の成績請求票の再発行を受けた場合は、再発行された成績請求票のみが有効です。この場合は、再発行された成績請求票により出願しなければ出願無資格者となります。
- ② 他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除きます）・学部等の前期日程入学手続者は、本学後期日程を受験しても入学許可は得られません。
- ③ 他の国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学を除きます）・学部等の推薦入試、アドミッション・オフィス（AO）入試合格者は、本学を受験しても入学許可は得られません。ただし、推薦入試、アドミッション・オフィス（AO）入試に合格した大学、学部等の定める入学辞退手続により入学辞退し、その許可を得た者を除きます。
- ④ 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ⑤ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び入学検定料の返還には応じません。ただし、出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者又は医薬保健学域医学類前期日程の志願者のうち、第1段階選抜で不合格となった者には、入学検定料のうち、13,000円を返還します。
- ⑥ 出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

### (2) 出願期間

令和2年1月27日（月）～2月5日（水）

ただし、インターネット出願システムは、令和2年1月20日（月）午前9時から事前登録が可能です。

出願書類は郵送（書留速達郵便に限る）するものとし、令和2年2月5日（水）までに必着とします。ただし、出願期間後に到着した出願書類のうち、令和2年2月3日（月）までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理。

#### ◎ 出願状況の情報提供

学域・学類・専攻ごとの出願状況（志願者数及び倍率）について、集計ができ次第、金沢大学Webサイトに掲載します。

掲載期間 令和2年1月27日（月）～3月31日（火）

金沢大学（入試情報）Webサイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>



(3) 出願書類等

①インターネット出願登録サイトでアップロード作業が必要なもの

証明写真データ	<p>インターネット出願登録及び入学検定料支払後、登録完了メールに記載のURLから、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。</p> <p>(注) 志願者本人と判別できるもので、<b>カラー・上半身・無帽・正面向き・無背景・直近3ヶ月以内に撮影した100KB～5MBのjpg又はpng形式のデータ</b>を使用してください。</p>
---------	--

②インターネット出願登録サイトから印刷するもの

出願確認票 (提出用)	<p>インターネット出願登録後、申込確認ページよりA4サイズでカラー印刷し、提出してください。</p> <p>(注) 印字されている内容に誤りがないか確認してください。</p> <p>出願確認票は、入学検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了しないと印刷できません。</p> <p>出願確認票 (確認用) とは異なるので、注意してください。</p>
宛名ラベル	<p>インターネット出願登録後、申込確認ページよりA4サイズでカラー印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください (普通紙印刷で糊付け可)。</p> <p>(注) 印字されている内容に誤りがないか確認してください。</p> <p>封筒は、<b>市販の角形2号封筒 (240mm×332mm)</b>を使用し、書留速達で郵送してください。</p>

③その他必要な提出書類

大学入試センター試験成績請求票	<p><b>前期日程志願者</b>は、「<input type="checkbox"/> 令和2センター試験成績請求票 国公立前期日程用」を、<b>後期日程志願者</b>は、「<input type="checkbox"/> 令和2センター試験成績請求票 国公立後期日程用」を、出願確認票の所定欄に貼って提出してください。</p>
調査書	<p>1. 高等学校若しくは中等教育学校卒業 (卒業見込み) の者</p> <p>(1) 文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し<b>厳封</b>したもの</p> <p>(2) 指導要録等の保存期間が経過した者、又は廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は次によってください。</p> <p>①卒業後5年を経過した場合 卒業証明書及び各教科・科目の修得単位を証明する書類 (単位修得証明書等)</p> <p>②卒業後20年を経過した場合 卒業証明書、成績通信簿 (原本)、その他志願者が提出可能な修得単位数が分かる書類 これらの書類が提出できない場合は、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書</p> <p>③廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合 卒業証明書、成績通信簿 (原本)、その他志願者が提出可能な修得単位数が分かる書類及び出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書</p> <p>※成績通信簿 (原本) を提出する場合は、後日返却するので、切手 (簡易書留料金) を貼付の上、郵便番号・住所・氏名を記入した返信用封筒 (市販のもので可) を同封してください。</p> <p>2. その他の者</p> <p>(1) 高等学校卒業程度認定試験 (大学入学資格検定試験含む) の合格者は、合格した科目の成績が記載された<b>合格成績証明書</b>をもって調査書に代えてください。なお、高等学校等において科目を修得したことにより、高等学校卒業程度認定の受験科目 (大学入学資格検定の受験科目含む) を一部免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の<b>成績証明書又は調査書 (出身学校長が作成し、厳封したもの)</b>を併せて提出してください。</p> <p>(2) 高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者は、出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えてください。</p>

<p>調査書</p>	<p>(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものについては、教育課程等を修了（見込み）の者にあつては当該課程の修了（見込み）を証明する書類及び成績証明書を、検定等に合格した者にあつては合格証書の写し及び成績証明書を提出してください。</p> <p>(4) 国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、フランス共和国のバカロレア資格取得者は、資格証書の写し及び成績証明書を提出してください。GCE Aレベル資格取得者は、成績評価証明書を提出してください。（本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数や評価については、19ページの表を確認してください。）</p> <p>(5) 国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程の修了（見込み）者は、当該課程の修了（見込み）を証明する書類、成績証明書及び当該教育施設がWASC, ACSI, CISのいずれかにより認定を受けていることを証明する書類を提出してください。</p> <p>(6) 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者は、修了（見込み）証明書及び成績証明書を提出してください。</p> <p>(7) 本学の個別の入学資格審査を受けて認定された者は、「金沢大学入学資格認定書」の写しを提出してください。</p> <p>3. 留意点 調査書の氏名と現在の氏名が相違している場合、改姓、改名した旨を記した書面（戸籍抄本等）を提出してください。</p>
<p>英語外部試験の成績証明書等（写し）</p> <p>※成績利用の詳細は、26ページ及び42ページの【留意事項】(iv)を確認してください。</p>	<p>英語外部試験（TOEFL-iBT, IELTS（アカデミック・モジュール）, GTEC（CBTタイプ）又はTEAP）の成績を利用する者は、TOEFL-iBT, IELTS（アカデミック・モジュール）, GTEC（CBTタイプ）, TEAPのいずれかのスコアのうち、入学志願者が所持する成績を証明する書類の写しを提出してください。</p> <p>(注1) 出願期間最終日（令和2年2月5日）時点で各英語外部試験が定める有効期間内のスコアに限ります。</p> <p>(注2) インターネット上のスコア確認画面を印刷したものは、成績を証明する書類として認めません。</p> <p>(注3) GTECはCBTタイプに限ります。また、スコアは「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」のみ認めます。</p> <p>(注4) 出願時に提出した<b>成績を証明する書類の原本は、入学手続において提出することとし、入学後の学類オリエンテーションで返却します。</b></p> <p>(注5) <b>原本が提出されない場合又は提出書類に不正があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。</b></p>
<p>学びのデータ（JAPAN e-Portfolioのデータ） （任意提出）</p>	<p>事前に「高大接続ポータルサイト JAPAN e-Portfolio」（<a href="https://jep.jp/">https://jep.jp/</a>）へ活動記録を入力している方が対象です。提出したデータは、今後の入学者選抜改革に向けての参考及び入学試験の分析・追跡調査のために利用します。</p> <p><b>なお、入学者選抜には利用しないため、合否には一切影響しません。</b></p> <p>「高大接続ポータルサイト JAPAN e-Portfolio」から「JeP学びのデータ請求票」を出力し、提出してください。</p> <p>出力方法の詳細は、下記Webサイトを確認してください。 <a href="https://jep.jp/EPortfolio/statics/faq/syutsugan.html">https://jep.jp/EPortfolio/statics/faq/syutsugan.html</a></p>

< 本学の出願に必要なGCE Aレベル資格の科目数及び評価（前期・後期日程） >

学域・学類等		必要な科目数及び評価
人間社会学域	人文学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
	法学類	
	経済学類	
	学校教育学類	
	地域創造学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし、「生物」、「経済」、「地理」、「政治」、「歴史」、「数学」のうち2科目を含むものとする。
	国際学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
理工学域	数物科学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
	物質化学類	
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類 (理工3学類前期一括入試)	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
医薬保健学域	医学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし、「数学」1科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち2科目の計3科目を含むものとする。
	薬学類・創薬科学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし、「数学」、「物理」、「化学」の3科目を含むものとする。
	保健学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
「文系後期一括、理系後期一括」入試		Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。

(4) 入学検定料の支払

① 入学検定料 17,000円

入学検定料の他に、支払手数料として別途640円が必要です。また、入試成績開示を希望する場合は、1回の出願につき開示請求手数料700円が必要です。

② 支払期間

令和2年1月20日(月)～2月5日(水)

③ 支払方法

コンビニエンスストア、銀行ATM（Pay-easyでの支払）、クレジットカード（VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club）及びネットバンキング（ジャパンネット銀行及びセブン銀行の2行は利用できません。）のいずれかで支払可能です。

(注) 1. 銀行窓口での支払はできません。

2. コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。

3. クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。

4. 出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。

ただし、入学検定料の支払後、出願しなかった場合は返還手続を行うことができますので、令和2年2月28日(金)までに下記担当へ連絡してください。

※開示請求手数料を支払っている場合、入学検定料と併せて返還します。

担当 財務部財務管理課出納係

〒920-1192 金沢市角間町

電話 076-264-5066

E-mail syunyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

## 6. 障がいのある者等の出願

本学に入学を志願する者で、障がい等があり、受験及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本学に事前相談書等を提出し、相談してください。

なお、体幹及び両上下肢の機能障がいが著しく、本学の個別学力検査において、「代筆解答」を必要とする者は、下記の期限にかかわらずできるだけ早い時期に本学へ相談してください。また、事前相談期限後に受験及び修学上の配慮を必要とする事態が生じた場合も、直ちに本学へ相談してください。

### (1) 事前相談期限 令和2年1月6日(月)

(なお、事前相談期限を過ぎてからの相談の場合でも対応しますが、必ずしも要望に沿うことができないこともあります。)

### (2) 提出書類

- ① 事前相談書(次の事項及び連絡先(住所・電話番号・メールアドレス)について記載したもの。様式は問いません。)
  - ア 志願者氏名
  - イ 志望学域・学類等及び受験予定の入試区分
  - ウ 障がいの種類・程度
  - エ 受験について配慮を希望する事項
  - オ 修学について配慮を希望する事項
  - カ 高等学校若しくは中等教育学校等でとられていた配慮
  - キ 日常生活の状況
  - ク その他参考となる事項
- ② 医師の診断書(上記ウ、エ、オ、キに関する項目も記載してください。)
- ③ 大学入試センター試験の「受験上の配慮事項審査結果通知書」又は「受験上の配慮事項決定通知書」の写し(大学入試センター試験で受験上の配慮を認められた者のみ)
- ④ その他参考書類(障害者手帳の写し等)

### (3) 相談先

金沢大学学生部入試課入学試験係 〒920-1192 金沢市角間町  
 電話 076-264-5169, 5177~5179 (平日午前9時から午後5時まで ※祝日、夏季休業及び年末年始を除く)  
 FAX 076-234-4042  
 E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

## 7. 受験票の印刷

令和2年2月11日(火・祝)から、インターネット出願登録サイトより受験票の印刷が可能です。「申込確認画面」からログインし、A4サイズで印刷してください。

- (1) 受験票には、受験上の注意・試験会場案内が確認できるWebサイトのURL及び2次元バーコードがあるので、必ず内容を確認の上、受験してください。
- (2) 氏名等に間違いがある場合には、学生部入試課入学試験係へ連絡してください。  
 連絡先 076-264-5169, 5177~5179
- (3) 試験当日は、印刷した「受験票」及び「大学入試センター試験受験票」を必ず持参してください。
- (4) 「受験票」及び「大学入試センター試験受験票」は、個別学力検査等受験等に必要なので、入学手続が完了するまで大切に保管してください。

## 8. 個人情報の保護

金沢大学では、「国立大学法人金沢大学個人情報管理規程」等を制定し、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出いただく書類に記載されているすべての個人情報は、次の業務で利用します。

- (1) 入学者選抜及び入学手続に関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務

- (6) 入学者選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (7) 卒業生、修了者に対する学習成果等調査（アウトカムズ・アセスメント）、同窓会活動への支援等に関する業務
- (8) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

なお、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、合否等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

## 9. 問合せ先

電話での問合せは、平日（月曜日～金曜日 ※祝日、夏季休業及び年末年始を除く）午前9時から午後5時の間で本人に限ります。  
また、志願者本人がこの学生募集要項を熟読し、必ず本人の責任で本入学者選抜に関するすべての事項を確認してください。

- (1) 入学試験関係 入学試験に関する問合せは、下記へ行ってください。

学生部入試課入学試験係	〒920-1192 金沢市角間町	電話 076-264-5169, 5177~5179 E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp	FAX 076-234-4042
-------------	------------------	---	------------------

不測の事態が発生した場合の情報提供

不測の事態により、発表内容、試験時間等を変更する場合は、金沢大学Webサイトに随時情報を掲載しますので、出願前や受験直前に必ず確認してください。

金沢大学（入試情報）Webサイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>



- (2) 修学関係 入学後の授業あるいは学生生活に関する問合せは、下記へ行ってください。

志望学域・学類等		問 合 せ 先		
人間社会学域	人文学類	人間社会系事務部 学生課教務係	〒920-1192 金沢市角間町	電話 076-264-5603 E-mail n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp
	法学類			
	経済学類			
	学校教育学類			
	地域創造学類			
理工学域	国際学類	理工系事務部 学生課教務係	〒920-1192 金沢市角間町	電話 076-234-6831 E-mail s-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp
	数物科学類			
	物質化学類			
	機械工学類			
	フロンティア工学類			
	電子情報通信学類			
医薬保健学域	地球社会基盤学類	医薬保健系事務部 学生課医学学務係	〒920-8640 金沢市宝町13-1	電話 076-265-2809, 2125 E-mail t-igaku1@adm.kanazawa-u.ac.jp
	生命理工学類			
	医学類			
医薬保健学域	薬学類・創薬科学類	医薬保健系事務部薬学・ がん研支援課薬学学務係	〒920-1192 金沢市角間町	電話 076-234-6827, 6828 E-mail y-gakumu@adm.kanazawa-u.ac.jp
	保健学類	医薬保健系事務部 保健学支援課保健学務係	〒920-0942 金沢市小立野5-11-80	電話 076-265-2515, 2516 E-mail t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp
文系後期一括 理系後期一括 (国際基幹教育院総合教育部)		学生部基幹教育支援課 基幹教育学務係	〒920-1192 金沢市角間町	電話 076-264-5758 E-mail stgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

## 10. 入試情報の提供

### (1) 金沢大学（入試情報）Web サイト

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>

期 間	内 容
令和2年1月27日(月) ～ 3月31日(火)	出願状況（学域・学類等ごとの志願者数及び倍率）
令和2年2月12日(水) 午後4時頃 ～ 2月21日(金)	医薬保健学域医学類前期日程 2段階選抜実施状況等
令和2年3月7日(土) 午後2時頃 ～ 3月31日(火)	前期日程合格者発表（受験番号のみ）
令和2年3月21日(土) 午前10時頃 ～ 3月31日(火)	後期日程合格者発表（受験番号のみ）
令和2年4月16日(木) ～ 令和3年3月31日(水)	志願者，受験者，合格者，追加合格者及び入学者数
	合格者の最高・最低点及び平均点* <sup>1</sup> 大学入試センター試験，個別学力検査等の各合格点及び総合点 について掲載
	各科目の正解・解答例
	各科目の問題* <sup>2</sup>

※1 募集人員又は合格者が10人未満の学域・学類等については，開示しません。

※2 各科目の問題については，著作権の手続が完了次第，開示します。

### (2) 金沢大学入試情報アプリ（金沢大学公式アプリ）

本学の入試情報（入試日程，学生募集要項，入学者選抜方法等の変更／予告，インターネット出願登録サイト等），学生募集イベント情報（オープンキャンパス等），学域・学類の紹介等を配信しています。

金沢大学入試情報アプリ  
(スマートフォン用アプリ)  
ダウンロード（無料）はこちらから



## 11. 入学試験の個人成績の開示

出願時に志願者からの成績開示の希望を受け，本人の令和2年度一般入試の個人成績を開示します。

### (1) 請求方法

- ① 成績開示を希望する志願者は，インターネット出願登録サイトにおいて出願登録の際に，試験成績開示請求項目の「希望する」を必ず選択してください。
- ② 「希望する」を選択した場合，1回の出願につき開示請求手数料700円が別途必要です。入学検定料と併せて支払ってください。

（注）出願後のメール，電話等による個別の開示請求は受け付けません。

### (2) 開示内容

- 本学が利用した大学入試センター試験の科目ごとの得点及び合計点
- 個別学力検査等の科目ごとの得点及び合計点

合格者成績情報（最高点，最低点，平均点）は，金沢大学Webサイトで閲覧できます。

金沢大学（入試情報）Web サイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>

### (3) 開示の時期・方法

令和2年5月1日(金)から6月30日(火)の間に郵送により通知します。

開示通知書は，出願登録の際に通知等を受ける場所・本人連絡先に入力した住所に郵送しますので，出願以降，開示の時期までの間に転居する予定の志願者は，**確実に受領できる住所（保護者住所等）を登録**してください。（高校・予備校の寮等の住所は登録しないでください。）

6月末までに届かない場合は入試課入学試験係へ連絡してください。

(注) インターネットで開示する方法に変更する場合があります。出願以降、開示の時期までの間、**確実に受信できるメールアドレスを登録**してください。

#### (4) 問合せ先

金沢大学学生部入試課入学試験係

電話 076-264-6192 (平日午前9時から午後5時まで ※祝日、夏季休業及び年末年始を除く)

## 12. JAPAN e-Portfolio 学びのデータ

本学では、多面的・総合的評価の実現を目指しています。提出された学びのデータは、今後の入学者選抜改革に向けての参考及び入学試験の分析・追跡調査のために利用します。

なお、**入学者選抜には利用しないため、合否には一切影響しません。**また、**学びのデータ提出については任意**とします。提出する場合、JeP学びのデータ請求票を出力し、出願書類と一緒に郵送してください。

## 1. 入学者選抜方法等

### (1) 入学者選抜方法

入学者選抜は、大学入試センター試験並びに本学が行う個別学力検査等及び調査書の審査の結果を総合して行います。

一般入試は、配点比率を示した大学入試センター試験と個別学力検査等の結果を総合して合否判定を行うのが基本であり、調査書は履修状況・学業成績等を確認するための資料又は面接試験の参考資料として用います。

- ① 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等、個別学力検査等の詳細は、「(3) 2段階選抜の実施（医薬保健学域医学類）」から「(8) 試験場」までの各項をそれぞれ確認してください。
- ② 大学入試センター試験で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等（外国語について英語を選択する場合は、リスニングテストを含む）を受験しなければ、出願無資格者とします。その場合は、個別学力検査等を受験することはできません。また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格とします。  
なお、個別学力検査の採点・評価基準は、37ページ「1. 入学者選抜方法等」の「(5) 採点・評価基準（個別学力検査）」を確認してください。

### (2) 併願

- ① 志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部（学域・学類）等から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部（学域・学類）等から1つ、合計2つの大学・学部（学域・学類）等に出願することができます。したがって、「前期—後期」の併願は認めますが、「前期—前期」、「後期—後期」の併願は認めませんので注意してください。
- ② 本学の「前期日程」の学域・学類と「後期日程」の学域・学類は、併願することができます。

### (3) 2段階選抜の実施（医薬保健学域医学類）

医薬保健学域医学類において志願者数が募集人員に対する予告倍率（3倍程度）を超えた場合には、大学入試センター試験の教科・科目の配点による成績の総得点により第1段階選抜を行うことがあります。その場合は、第1段階選抜合格者についてのみ第2段階選抜を実施します。

第1段階選抜合格者発表（又は第1段階選抜不実施の発表）

第1段階選抜を実施した場合は、第1段階選抜合格者の受験番号を医学類掲示場及び金沢大学（入試情報）Webサイトにおいて発表するとともに、志願者全員に第1段階選抜結果通知書を送付します。令和2年2月18日（火）までに到着しない場合は、学生部入試課入学試験係（連絡先：076-264-5169, 5177~5179）へ連絡してください。

第1段階選抜を実施しなかった場合は、実施しなかった旨を医学類掲示場及び金沢大学（入試情報）Webサイトにおいて発表しますので、確認してください。

発表日時：令和2年2月12日（水）午後4時（予定）

発表場所：医薬保健学域医学類掲示場（宝町・鶴間キャンパス医学類F棟1階正面玄関掲示板）

金沢大学（入試情報）Webサイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>

金沢大学Webサイトへの掲載期間は、令和2年2月12日（水）午後4時頃から2月21日（金）までです。

- (注) 1. 電話等による合否の問合せには応じません。
2. 入学検定料について、第1段階選抜で不合格となった者には、13,000円を返還します。該当する者には、第1段階選抜結果通知の際に入学検定料一部返還請求書を送付しますので、令和2年2月28日（金）までに申し出てください。

(4) 実施教科・科目等

【留意事項】

(i) 大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」,「情報関係基礎」を選択できる者は,高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。

(ii) 個別学力検査の「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」,「数学B」,「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」,「地学基礎・地学」の出題範囲については,次のとおりです。

「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」……それぞれ全範囲を出題範囲とします。

「数学B」……「数列」,「ベクトル」を出題範囲とします。

「物理基礎・物理」……「物理基礎」及び「物理」の全範囲から出題します。

「化学基礎・化学」……「化学基礎」及び「化学」の全範囲から出題します。

「生物基礎・生物」……「生物基礎」及び「生物」の全範囲から出題します。

「地学基礎・地学」……「地学基礎」及び「地学」の全範囲から出題します。

(iii) 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等については次のとおりです。

① 配点に※印を付してある教科は,選択教科を表します。

② 大学入試センター試験で,指定した教科・科目数を超えて受験している場合は,指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。

ただし,『「地理歴史」「公民」』の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合及び「理科」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合は,それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。(第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格とします。)

(大学入試センター試験の『「地理歴史」「公民」』及び「理科②」の試験時間において2科目を選択する場合,解答順に前半に受験した科目を第1解答科目,後半に受験した科目を第2解答科目とします。)

③ 大学入試センター試験の「理科」のうち,「基礎を付した科目」(「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」)から2科目を選択するように指定している学類の中で,人文学類,法学類,経済学類,国際学類においては,「基礎を付していない科目」(「物理」,「化学」,「生物」,「地学」)から2科目を選択した場合,基礎を付した2科目を選択したものとみなし,合計得点(200満点)を100点満点に換算して利用します。

④ 大学入試センター試験で「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学域・学類等については,2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。

⑤ 個別学力検査で「理科」2科目を課す学域・学類等については,2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。

⑥ 大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストが含まれており,成績は,筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点に圧縮して利用します。

なお,大学入試センター試験の「英語」のリスニングテストが免除の重度難聴者については,「英語」の筆記試験の成績(200点満点)を圧縮せずに利用します。

また,入学者選抜の配点にあたっては,学域・学類等に示されている大学入試センター試験の「外国語」の配点に換算します。

(iv) 大学入試センター試験の「英語」での英語外部試験の利用については次のとおりです。

大学入試センター試験の「英語」について、以下の表に○で示す学域・学類においては、英語外部試験のスコアの提出を認め、TOEFL-iBT：45～68、IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：3.0～6.0、GTEC（CBTタイプ）：910～1140、TEAP：246～304の場合は、大学入試センター試験の「英語」の得点の80%から100%の得点を、英語外部試験のスコアに応じて与えます。TOEFL-iBT：68以上、IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：6.0以上、GTEC（CBTタイプ）：1140以上、TEAP：304以上の場合は、大学入試センター試験の「英語」の100%の得点を与えます。ただし、大学入試センター試験の「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

<上記の英語外部試験のスコアの提出を認める学域・学類（一般入試（前期日程））>

学域・学類	前期日程	
人間社会学域	人文学類	○
	法学類	—
	経済学類	○
	学校教育学類	○
	地域創造学類	○
	国際学類	○
理工学域	数物科学類	—
	物質化学類	—
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	—
	地球社会基盤学類	—
	生命理工学類	—
	医薬保健学域	医学類
薬学類 創薬科学類		—
保健学類		○

(注) —は英語外部試験を利用しない学類です。

(v) 各学域・学類等の内容が表示してある表の下の「注意事項」も必ず確認してください。

学域・学類等	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								そ の 他		
	教科	科目名等	大学入試センター試験 受験科目チェック欄	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・ 口述試験	配点 合計
人文学類	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	国語 外国語	国語総合 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験	200	※300 (150×2)	200	100	200				1000	
	地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 2つ チェック			個別学力検査等	300					300				600
	公民	「倫理、政治・経済」	<input type="checkbox"/>			計	500	300	200	100	500					1600
	数学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つ チェック													
	理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 2つ チェック													
	外国語	「英語」 <sup>(注1)</sup> 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つ チェック													
	計	〔5教科8科目〕又は〔6教科8科目〕				<input type="checkbox"/> 計 科目										
人間社会 学 域	L 方式	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	(L方式) 国語 外国語	国語総合 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験	200	※200 (100×2)	200	100	250			950	
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1又は2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 2つ チェック			個別学力検査等	300				300		600		
		公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つ チェック			計	500	200	200	100	550		1550		
	M 方式	数学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つ チェック	(M方式) 数学 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験	200	※200 (100×2)	200	100	250			950	
		理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 2つ チェック			個別学力検査等			300		300		600		
		外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> } 1つ チェック			計	200	200	500	100	550		1550		
		計	〔5教科8科目〕又は〔6教科8科目〕				<input type="checkbox"/> 計 科目									

大学入試センター試験で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等（「外国語」について「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、出願無資格者となります。その場合は、個別学力検査等を受験することはできません。  
また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。

【人文学類（前期日程）】 注意事項

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、26ページ「1 入学者選抜方法等 (4) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

【法学類（前期日程）】 注意事項

(注2) 大学入試センター試験において、「地理歴史」「公民」は、次のいずれかの組合せとします。  
「地理歴史」から2科目又は「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目

学域・学類等		大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								そ の 他			
		教科	科目名等	大学入試センター試験 受験科目チェック欄	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・ 口述試験	配点 合計	
人間社会 学 域	経済学類	国 語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	数 学 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験	200	※200 (100×2)		200	100	250			950		
		地理歴史	「世界史B」 } から 「日本史B」 } 1又は2 「地理B」 } から2 <small>(注1)</small>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			2つ チェック	個別学力検査等				300		300			600	
		公 民	「現代社会」 } から1 「倫理」 } から1 「政治・経済」 } 「倫理、政治・経済」 } <small>(注1)</small>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			2つ チェック	計	200	200		500	100	550			1550	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 } から1 「簿記・会計」 } 「情報関係基礎」 } <small>(注1)</small>	<input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック											
		理 科	「物理基礎」 } から2 「化学基礎」 } 「生物基礎」 } 「地学基礎」 } <small>(注1)</small>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			2つ チェック											
		外 国 語	「英語」 <sup>(注2)</sup> } から1 「ドイツ語」 } 「フランス語」 } 「中国語」 } 「韓国語」 } <small>(注2)</small>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック											
		計	〔5教科8科目〕又は〔6教科8科目〕	<input type="checkbox"/> 計 科目														

【経済学類（前期日程）】注意事項

(注1) 大学入試センター試験において、「地理歴史」「公民」は、次のいずれかの組合せとします。

「地理歴史」から2科目又は「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目

(注2) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、26ページ「1 入学者選抜方法等 (4) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

大学入試センター試験で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等（「外国語」については「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、出願無資格者となります。その場合は、個別学力検査等を受験することはできません。  
また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。

学域・学類等	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										そ の 他		
	教科	科目名等	大学入試センター試験 受験科目チェック欄	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・ 口述試験	配点 合計			
人間社会 学 域	学校教育学類	パターンA	国語	〔国語〕	<input type="checkbox"/> 必須	国語 数学 理科 外国語	国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学Ⅲ・数学Ⅳ 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物、 地学基礎・地学 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験 パターンA	200	※200 (100×2)	200	100	200			900		
			地理 歴史	〔世界史B〕 〔日本史B〕 〔地理B〕	から1又は2			から1	個別学力検査等	※300		※300	※300	300			600	
			公民	〔現代社会〕 〔倫理〕 〔政治・経済〕 〔倫理・政治・経済〕	から1			から1	計	パターンA 国語選択 (個別)	500	200	200	100	500			1500
			数学	〔数学Ⅰ・数学Ⅱ〕 〔数学Ⅲ・数学Ⅳ〕 〔簿記・会計〕 〔情報関係基礎〕	から1			と		パターンA 数学選択 (個別)	200	200	500	100	500			
			理科	〔物理基礎〕 〔化学基礎〕 〔生物基礎〕 〔地学基礎〕 又は 〔物理〕 〔化学〕 〔生物〕 〔地学〕	から2 から1			と 又は		パターンA 理科選択 (個別)	200	200	200	400	500			
			外国語	〔英語〕 <sup>(注2)</sup> 〔ドイツ語〕 〔フランス語〕 〔中国語〕 〔韓国語〕	から1			と										
	計	〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目														
	パターンB	国語	〔国語〕	<input type="checkbox"/> 必須	国語 数学 理科 外国語	国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学Ⅲ・数学Ⅳ 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物、 地学基礎・地学 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験 パターンB	200	※100 (100×1)	200	200	200			900			
		地理 歴史	〔世界史B〕 〔日本史B〕 〔地理B〕	から1			から1	個別学力検査等	※300		※300	※300	300			600		
		公民	〔現代社会〕 〔倫理〕 〔政治・経済〕 〔倫理・政治・経済〕	から1			から1	計	パターンB 国語選択 (個別)	500	100	200	200	500			1500	
		数学	〔数学Ⅰ・数学Ⅱ〕 〔数学Ⅲ・数学Ⅳ〕 〔簿記・会計〕 〔情報関係基礎〕	から1			と		パターンB 数学選択 (個別)	200	100	500	200	500				
		理科	〔物理基礎〕 〔化学基礎〕 〔生物基礎〕 〔地学基礎〕 と 〔物理〕 〔化学〕 〔生物〕 〔地学〕 又は 〔物理〕 〔化学〕 〔生物〕 〔地学〕	から2 から1			と 又は		パターンB 理科選択 (個別)	200	100	200	500	500				
外国語		〔英語〕 <sup>(注2)</sup> 〔ドイツ語〕 〔フランス語〕 〔中国語〕 〔韓国語〕	から1	と														
計	〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目															

大学入試センター試験で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等(〔外国語〕については〔英語〕を選択する場合は、リスニングテストを含む。)を受験しなければ、出願無資格者となります。その場合は、個別学力検査等を受験することはできません。また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。

【学校教育学類(前期日程)】 注意事項

- ① 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- ② パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目(例えば「物理基礎」と「物理」)を組み合わせで選択することはできません。
- ③ 「〔地理歴史〕」「公民」と「理科」で5科目受験している場合(つまり、「〔地理歴史〕」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目)、以下のように成績を扱います。
  - ① 「〔地理歴史〕」「公民」の第1解答科目
  - ② 「〔地理歴史〕」「公民」の第2解答科目、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目(「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は3科目)
- ④ 「〔地理歴史〕」「公民」と「理科」で4科目受験している場合(つまり、「〔地理歴史〕」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目)、以下のように成績を扱います。
  - ① 「〔地理歴史〕」「公民」の第1解答科目
  - ② 「理科」の第1解答科目
  - ③ 「〔地理歴史〕」「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目

(注1) 大学入試センター試験において、パターンAの「〔地理歴史〕」「公民」は、次のいずれかの組合せとします。  
「〔地理歴史〕」から2科目又は「〔地理歴史〕」から1科目及び「公民」から1科目

(注2) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、26ページ「1 入学者選抜方法等 (4) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学 域 ・ 学 類 等	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								そ の 他			
	教 科	科 目 名 等	大学入試センター試験 受験科目チェック欄	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・ 口述試験	配点 合計	
人間社会 学 域	地域創造学類	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	国 語 数 学 外 国 語	国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験 パターンA	200	※200 (100×2)	200	100	250			950		
		地理 歴史	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	から2			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	2つ チェック	個別学力検査等	※200			※200				400
			公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理・政治・経済」			から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック	計	パターンA 国語 数学 選択 (個別)	400	200	400	100	250	
		数学		「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」			から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック		パターンA 国語 外国語 選択 (個別)	400	200	200	100	450	
			理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 と 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」			から2 から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	2つ チェック 又は 1つ チェック		パターンA 数学 外国語 選択 (個別)	200	200	400	100	450	
		外国語		「英語」 <sup>(注1)</sup> 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」			から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック								
	計	〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目													
	地域創造学類	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	国 語 数 学 外 国 語	国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験 パターンB	200	※100 (100×1)	200	200	250			950		
		地理 歴史	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	から1			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック	個別学力検査等	※200			※200			400	
			公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理・政治・経済」			から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック	計	パターンB 国語 数学 選択 (個別)	400	100	400	200	250	
		数学		「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」			から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック		パターンB 国語 外国語 選択 (個別)	400	100	200	200	450	
			理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 と 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」			から2 から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	2つ チェック 又は 1つ チェック		パターンB 数学 外国語 選択 (個別)	200	100	400	200	450	
外国語		「英語」 <sup>(注1)</sup> 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」		から1			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック									
計	〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目														

大学入試センター試験で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等(「外国語」については「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。)を受験しなければ、出願無資格者とします。その場合は、個別学力検査等を受験することはできません。また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格とします。

【地域創造学類 (前期日程)】 注意事項

- 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- パターンAの、「地理歴史」「公民」の2科目について、同一名称を含む科目(例えば「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理・政治・経済」)を組み合わせることはできません。
- パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目(例えば「物理基礎」と「物理」)を組み合わせることはできません。
- 「地理歴史」「公民」と「理科」で5科目受験している場合(つまり、「地理歴史」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目)、以下のように成績を用います。
  - 「地理歴史」「公民」の第1解答科目
  - 「地理歴史」「公民」の第2解答科目、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目(「理科」の「基礎を付した科目」を利用した場合は3科目)
- 「地理歴史」「公民」と「理科」で4科目受験している場合(つまり、「地理歴史」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目)、以下のように成績を用います。
  - 「地理歴史」「公民」の第1解答科目
  - 「理科」の第1解答科目
  - 「地理歴史」「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、26ページ「1入学者選抜方法等」(4)実施教科・科目等【留意事項】(iv)を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等	大学入試センター試験の利用教科・科目名			大学入試センター試験 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								そ の 他				
	教科	科目名等			教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・ 口述試験	配点 合計		
人間社会 学域	国際学類	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	国語 外国語	国語総合 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験	200	※200 (100×2)		200	100	200			900	大学入試センター試験で、 志望する学域・学類等が課 すすべての教科・科目等 （「外国語」については「英語」 を選択する場合は、リスニ ングテストを含む。）を受験 しなければ、出願無資格者 とします。その場合は、個 別学力検査等を受験するこ とはできません。 また、個別学力検査等で、 志望する学域・学類等が課 す教科・科目等のすべてを 受験しなければ、失格とし ます。		
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1又は2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			2つ チェック	個別学力検査等	300					300				600	
		公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			2つ チェック	計	500	200		200	100	500				1500	
		数学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック												
		理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			2つ チェック												
		外国語	「英語」 <sup>(注2)</sup> 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック												
計	〔5教科8科目〕又は〔6教科8科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目																

【国際学類（前期日程）】 注意事項

(注1) 大学入試センター試験において、「地理歴史」「公民」は、次のいずれかの組合せとします。

「地理歴史」から2科目又は「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目

(注2) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、26ページ「1 入学者選抜方法等 (4) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								そ の 他		
	教科	科目名等	大学入試センター試験 受験科目チェック欄	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・ 口述試験	配点 合計
理工学域 数物科学類	国 語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	数 学 理 科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 物理基礎・物理、 化学基礎・化学 } から1 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	
	地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			個別学力検査等				450	350	100				900
	公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 } から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			計	200	100	650	550	300				1800	
	数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」 } から1	<input type="checkbox"/> 必須 と <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
	理 科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 } から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
	外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」 } から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
	計	(5教科7科目)	<input type="checkbox"/> 計 科目													
理工学域 物質化学類	国 語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	数 学 理 科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 化学基礎・化学 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	
	地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			個別学力検査等				400	400	400			1200	
	公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 } から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			計	200	100	600	600	600				2100	
	数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」 } から1	<input type="checkbox"/> 必須 と <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
	理 科	「物理」 と 「化学」	<input type="checkbox"/> 必須 と <input type="checkbox"/> 必須													
	外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」 } から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													
	計	(5教科7科目)	<input type="checkbox"/> 計 科目													

大学入試センター試験で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等(「外国語」について「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。)を受験しなければ、出願無資格者とします。その場合は、個別学力検査等を受験することはできません。  
また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格とします。

学域・学類等	大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								そ の 他																		
	教科	科目名等		教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・ 口述試験	配点 合計																
理工学域	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類 (注1)	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	数 学 理 科 外国語	センター試験	200	※100 (100×1)	200	200	200			900																		
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>											数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 物理基礎・物理 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	個別学力検査等	500	400	400			1300										
		公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理・政治・経済」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																			1つ チェック	計	200	100	700	600	600			2200
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																			必須 と 1つ チェック									
		理 科	「物理」 と 「化学」	<input type="checkbox"/> 必須 と <input type="checkbox"/> 必須																												
		外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>																			1つ チェック									
計	(5教科7科目)	<input type="checkbox"/> 計 科目																														

【機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類（前期日程）】 注意事項

(注1) 機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類の前期日程の選抜は、3学類一括で実施します。各学類への移行は2年次からとします。

出願時に移行を希望する学類がある場合は1つだけ申請することができます（優先配属の申請）。優先配属は入試成績により決定します。

ただし、優先配属が決定した場合でも、2年進級時に優先配属を辞退して、他の2学類を再希望することができます。

また、優先配属を希望しない又は優先配属が決定しなかった場合、入学後の希望と学業成績により移行する学類を決定します。

<優先配属の申請について>

優先配属を申請する場合は、インターネット出願登録サイトにおいて、出願登録の際に優先配属を希望する学類（いずれか1つ）を選択してください。

選択していない場合は、優先配属の申請を行わないものとみなします。

学域・学類等	大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								そ の 他			
	教科	科目名等		教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・ 口述試験	配点 合計	
理工学域	地球社会基盤学類	国 語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	数 学 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物、 地学基礎・地学 外国語 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験	100	※100 (100×1)	250	250	200			900	大学入試センター試験で、 志望する学域・学類等が課 すすべての教科・科目等 （「外国語」については「英語」 を選択する場合は、リスニ ングテストを含む。）を受験 しなければ、出願無資格者 とします。その場合は、個 別学力検査等を受験するこ とはできません。 また、個別学力検査等で、 志望する学域・学類等が課 す教科・科目等のすべてを 受験しなければ、失格とし ます。		
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		理 科	個別学力検査等			300	300	300				900	
		公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		1つ チェック	外国語	計	100	100	550	550	500				1800
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		必須 と 1つ チェック											
		理 科	「物理」 と 「化学」 「生物」 「地学」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		必須 と 1つ チェック											
		外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		1つ チェック											
		計	〔5教科7科目〕			<input type="checkbox"/> 計 科目											
理工学域	生命理工学類	国 語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	数 学 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物、 地学基礎・地学 外国語 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験	200	※100 (100×1)	200	200	200			900			
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		理 科	個別学力検査等			300	300	300			900		
		公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		1つ チェック	外国語	計	200	100	500	500	500			1800	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		必須 と 1つ チェック											
		理 科	「物理」 「化学」 「生物」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		2つ チェック											
		外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		1つ チェック											
		計	〔5教科7科目〕			<input type="checkbox"/> 計 科目											

学域・学類等	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								そ の 他		
	教科	科目名等	大学入試センター試験 受験科目チェック欄	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・ 口述試験	配点 合計
医学保健 学 域	医 学 類	国 語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B	センター試験	100	※50 (50×1)	100	100	100			450	
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック	理 科	物理基礎・物理 と 化学基礎・化学	個別学力検査等			200	200	200	
		公 民	「倫理・政治・経済」	<input type="checkbox"/>	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	計			100	50	300	300	300		100
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック	その他	面接（勉学意欲と資質等を判断す るための多面的試験を行い ます。）							
		理 科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	2つ チェック											
		外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック											
	計	[5教科7科目]	<input type="checkbox"/> 計 科目													
薬学類・ 創薬科学類 (注1)	薬 学 類 創 薬 科 学 類	国 語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B	センター試験	100	※100 (100×1)	200	200	200			800	
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック	理 科	物理基礎・物理 と 化学基礎・化学	個別学力検査等			300	600	300	
		公 民	「倫理・政治・経済」	<input type="checkbox"/>	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	計			100	100	500	800	500		2000
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック									
		理 科	「物理」 と 「化学」	必須 <input type="checkbox"/> と <input type="checkbox"/> 必須												
		外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック											
	計	[5教科7科目]	<input type="checkbox"/> 計 科目													

① 大学入試センター試験で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等（「外国語」については「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、出願無資格者となります。その場合は、個別学力検査等を受験することはできません。  
また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。

② 医学類では志願者数が募集人員に対する予告倍率（3倍程度）を超えた場合には、大学入試センター試験の教科・科目の配点による成績の総得点により第1段階選抜を行うことがあります。その場合は、第1段階合格者についてのみ第2段階選抜を実施します。

【薬学類・創薬科学類（前期日程）】 注意事項

(注1) 薬学類（6年制）、創薬科学類（4年制）の前期日程の選抜は一括で実施します。各学類への配属は3年次後期からとします。

学域・学類等	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								そ の 他			
	教科	科目名等	大学入試センター試験 受験科目チェック欄	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・ 口述試験	配点 合計	
保健学類 看護学専攻 理学療法専攻 作業療法専攻	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	理科 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物 外国語 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験	200	※100 (100×1)	200	200	200				900		
	地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1つ チェック			個別学力検査等				400	400					800	
	公民	「倫理・政治・経済」	<input type="checkbox"/>			計	200	100	200	600	600					1700	
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1つ チェック														
	理科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2つ チェック														
	外国語	「英語」 <sup>(注1)</sup> 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1つ チェック														
	計	(5教科7科目)	<input type="checkbox"/> 計 科目														
医業保健 学 域 保健学類 放射線技術科学専攻	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	数学 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 理科 物理基礎・物理、 化学基礎・化学 外国語 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験 物理基礎・物理、 化学基礎・化学 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験	100	※100 (100×1)	200	400	200				1000		
	地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1つ チェック			個別学力検査等				200	200	200				600	
	公民	「倫理・政治・経済」	<input type="checkbox"/>			計	100	100	400	600	400					1600	
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1つ チェック														
	理科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2つ チェック														
	外国語	「英語」 <sup>(注1)</sup> 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1つ チェック														
	計	(5教科7科目)	<input type="checkbox"/> 計 科目														
保健学類 検査技術科学専攻	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	数学 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 理科 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物 外国語 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	センター試験	200	※100 (100×1)	200	200	200				900		
	地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1つ チェック			個別学力検査等				200	400	200				800	
	公民	「倫理・政治・経済」	<input type="checkbox"/>			計	200	100	400	600	400					1700	
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1つ チェック														
	理科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2つ チェック														
	外国語	「英語」 <sup>(注1)</sup> 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1つ チェック														
	計	(5教科7科目)	<input type="checkbox"/> 計 科目														

大学入試センター試験で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等（「外国語」について「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、出願無資格者となります。その場合は、個別学力検査等を受験することはできません。また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す教科・科目等すべてを受験しなければ、失格となります。

【保健学類（前期日程）】 注意事項

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、26ページ「1 入学者選抜方法等 (4) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

(5) 採点・評価基準（個別学力検査）

《論述・記述問題》

教科等	留意している点等
国語	① 設問に対していかに正確に答えているかを評価します。 ② 解答内容をいかに的確に表現しているかを評価します。
数学	① 解法の多様性を考慮し、解答の過程を十分吟味し評価します。 ② 答案の論理構成に整合性があるかどうかを重視します。
物理	物理に対する基本的な理解度を見ます。
化学	化学における基本的な概念や原理・法則に対する理解の深さと化学的な思考力を評価します。
生物	生物における基本的な概念に対する知識や理解及び論理的思考能力を見ます。
地学	地学における基本的な知識や理解並びに論理的思考力を評価します。
英語	英語をととして、課題文の内容を理解し、自分で考え表現する能力を評価します。
面接（医学類）	生命科学と人類の幸福に対する志、体験、資質等を総合的に評価します。

(6) 試験期日

令和2年2月25日(火)～2月26日(水)

2月26日(水)は、医薬保健学域医学類の面接のみ行います。

(7) 試験時間割

令和2年2月25日(火)

学域・学類等		試験時間割			
人間 社会 学域	人文学類	外国語 9：20～10：50	国語 12：20～13：50	数学 14：40～16：10	
	法学類		L方式		理科（選択） 12：20～13：20
			M方式	数学（選択） 14：40～16：10	
	経済学類		国語（選択） 12：20～13：50		
	学校教育学類		外国語（選択） 9：20～10：50	国語 12：20～13：50	国語 12：20～13：50
	地域創造学類				
	国際学類		外国語 9：20～10：50	国語 12：20～13：50	

学 域 ・ 学 類 等		試 験 時 間 割		
理 工 学 域	数 物 科 学 類	外国語 9 : 20~10 : 50	理 科 12 : 20~14 : 00	数 学 15 : 10~17 : 10
	物 質 化 学 類			
	機 械 工 学 類 フロンティア工学類 電子情報通信学類			
	地 球 社 会 基 盤 学 類			
	生 命 理 工 学 類			
医 薬	医 学 類	9 : 20~10 : 50	理 科 12 : 20~14 : 20	
	薬学類・創薬科学類			
保 健 学 域	保 健 看 護 学 専 攻 理 学 療 法 学 専 攻 作 業 療 法 学 専 攻	9 : 20~10 : 50	理 科 12 : 20~13 : 20	
			放 射 線 技 術 科 学 専 攻	
	検 査 技 術 科 学 専 攻		理 科 12 : 20~14 : 20	数 学 15 : 10~17 : 10

令和2年2月26日(水)

学 域 ・ 学 類	試 験 時 間
医 薬 保 健 学 域 医 学 類	面接 9 : 00~ (詳細は、受験票に記載のURLから「試験場の案内」及び「面接試験 受験上の注意」等をダウンロードし、確認してください。)

**(8) 試験場**

- ① 試験場は下記の予定です。ただし、志願者数によってキャンパスを変更することがあります。  
人間社会学域、理工学域、医薬保健学域（薬学類・創薬科学類）：角間キャンパス  
医薬保健学域（医学類、保健学類）：宝町・鶴間キャンパス
- ② 「試験場案内」及び「受験上の注意」等については、受験票に記載のURLからダウンロードしてください。  
受験票印刷可能日 令和2年2月11日(火・祝)
- ③ 令和2年2月21日(金)午後1時以降、キャンパス内に試験場への経路案内及び試験場入口（玄関）に試験室案内等を掲示します。
- ④ 風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程、到着時間等に十分ゆとりをもって行動してください。

## 2. 合格者発表

前期日程合格者の受験番号を学内掲示場及び金沢大学（入試情報）Webサイトにおいて発表します。

なお、合格者には合格通知書、入学手続要項を送付します。

**発表日時** 令和2年3月7日(土)午後2時(予定)

**発表場所** 大学会館前掲示場（角間キャンパス北地区）54～55ページのキャンパスマップ参照

金沢大学（入試情報）Webサイト（<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>）には午後2時頃の掲載予定  
電話等による合否の照会には応じません。

## 3. 入学手続

入学手続期間、手続方法等の主な概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を確認してください。

### (1) 入学手続期間

令和2年3月15日(日)まで(厳守)

### (2) 提出書類

- ① 大学入試センター試験受験票（入学手続まで大切に保管しておいてください）
- ② 卒業証明書（卒業見込みの資格で出願した者のみ）
- ③ 出願時に提出した英語外部試験の成績証明書等の原本（英語外部試験の成績を利用した者のみ）

### (3) 提出先

金沢大学学生部入試課

### (4) 入学料

282,000円(予定)

(注) 上記の納入金額は予定額であり、入学時に入学料を改定した場合には、改定時から新入学料を適用します。なお、授業料の納入については、50ページ「4. 授業料の納入」を確認してください。

### (5) 入学手続方法

郵送又は持込みとします。郵送の場合は3月14日(土)必着、持込みの場合は3月15日(日)のみ受付します。

### (6) 留意事項

- ① 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。）に入学手続を行うことはできません。
- ② 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ③ 他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。）に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできません。
- ④ 「前期日程」に合格し、3月15日(日)までに入学手続を行った者は、「後期日程」を受験してもその合格者としません。
- ⑤ 入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については、50～51ページを確認してください。
- ⑥ 国公立大学の分離・分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

## 4. 欠員補充の方法

### (1) 追加合格

入学手続の結果、欠員が生じた場合は、3月28日(土)以降に「追加合格」を通知することがあります。

追加合格の通知は、出願確認票に記載されている電話番号または携帯番号へ直接連絡しますので、不在にする場合も連絡がとれるように手配してください。

なお、合格候補者に対し連絡を開始してから、概ね5時間を経過しても本人と連絡がとれない場合には、次の候補者に連絡をとることがあります。

また、他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。）に入学手続を完了した者は、それを取り消して、本学の入学手続を行うことはできません。

### (2) 欠員補充第2次募集

必要がある場合には、欠員補充第2次募集を行います。

欠員補充第2次募集を実施する場合には、決定次第、金沢大学 Web サイトに掲載するとともに報道機関（特に新聞）を通じて公表します。

金沢大学（入試情報）Web サイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>

## 1. 入学者選抜方法等

### (1) 入学者選抜方法

入学者選抜は、大学入試センター試験並びに本学が行う個別学力検査等及び調査書の審査の結果を総合して行います。

一般入試は、配点比率を示した大学入試センター試験と個別学力検査等の結果を総合して合否判定を行うのが基本であり、調査書は履修状況・学業成績等を確認するための資料又は面接試験の参考資料として用います。

- ① 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等、個別学力検査等の詳細は、「(3) 実施教科・科目等」から「(7) 試験場」までの各項をそれぞれ確認してください。
- ② 大学入試センター試験で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等（外国語について英語を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、出願無資格者とします。その場合は、個別学力検査等を受験することはありません。また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格とします。
- ③ 「前期日程」に合格し、3月15日(日)までに入学手続を行った者は、「後期日程」を受験してもその合格者としません。

### (2) 併願

- ① 志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部（学域・学類）等から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部（学域・学類）等から1つ、合計2つの大学・学部（学域・学類）等に出願することができます。したがって、「前期—後期」の併願は認めますが、「前期—前期」、「後期—後期」の併願は認めませんので注意してください。
- ② 本学の「前期日程」の学域・学類と「後期日程」の学域・学類は、併願することができます。

### (3) 実施教科・科目等

#### 【留意事項】

(i) 大学入試センター試験の「数学」のうち「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

(ii) 個別学力検査の「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」の出題範囲については、次のとおりです。

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」……それぞれ全範囲を出題範囲とします。

「数学B」……………「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

「物理基礎・物理」……………「物理基礎」及び「物理」の全範囲から出題します。

「化学基礎・化学」……………「化学基礎」及び「化学」の全範囲から出題します。

(iii) 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等については次のとおりです。

① 配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。

② 大学入試センター試験で、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。

ただし、『「地理歴史」「公民」』の受験科目を1科目と指定した学類等において2科目受験している場合及び「理科」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。（第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格とします。）

また、文系後期一括入試の『「地理歴史」「公民」』に関しては、大学入試センター試験の『「地理歴史」「公民」』を2科目受験している場合、第1解答科目の成績を優先して利用します。よって、第2解答科目の成績を利用するのは、指定した教科・科目の範囲（「外国語」を除く）で高得点の上位2科目が『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目及び第2解答科目である場合のみです。

（大学入試センター試験の『「地理歴史」「公民」』及び「理科②」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）

③ 大学入試センター試験の「理科」のうち、「基礎を付した科目」（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）から2科目を選択するように指定している学類の中で、**人文学類、法学類**においては、「基礎を付していない科目」（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」）から2科目を選択した場合、基礎を付した2科目を選択したものとみなし、合計得点（200満点）を100点満点に換算して利用します。

- ④ 大学入試センター試験で「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学域・学類等については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
- ⑤ 大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストが含まれており、成績は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を200点満点に圧縮して利用します。

なお、大学入試センター試験の「英語」のリスニングテストが免除の重度難聴者については、「英語」の筆記試験の成績（200点満点）を圧縮せずに利用します。

また、入学者選抜の配点にあたっては、学域・学類等に示されている大学入試センター試験の「外国語」の配点に換算します。

- (iv) 大学入試センター試験の「英語」での英語外部試験の利用については次のとおりです。

大学入試センター試験の「英語」について、以下の表に○で示す学域・学類等においては、英語外部試験のスコアの提出を認め、TOEFL-iBT：45～68, IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：3.0～6.0, GTEC（CBTタイプ）：910～1140, TEAP：246～304の場合は、大学入試センター試験の「英語」の得点の80%から100%の得点を、英語外部試験のスコアに応じて与えます。TOEFL-iBT：68以上, IELTS（アカデミック・モジュール）バンド：6.0以上, GTEC（CBTタイプ）：1140以上, TEAP：304以上の場合は、大学入試センター試験の「英語」の100%の得点を与えます。ただし、大学入試センター試験の「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

<上記の英語外部試験のスコアの提出を認める学域・学類等（一般入試（後期日程）)>

学域・学類等		後期日程
人間社会学域	人文学類	○
	法学類	—
	地域創造学類	○
	国際学類	○
理工学域	数物科学類	○
	物質化学類	○
	地球社会基盤学類	○
医薬保健学域	保健学類	○
後期一括	文系後期一括	○
	理系後期一括	○

(注) —は英語外部試験を利用しない学類です。

- (v) 各学域・学類等の内容が表示してある表の下の「注意事項」も必ず確認してください。

学域・学類等	大学入試センター試験の利用教科・科目名			大学入試センター試験 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								そ の 他		
	教科	科目名等			教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・ 口述試験	配点 合計
人文学類	国語	「国語」		<input type="checkbox"/> 必須	その他 小論文 (広く人間・社会・歴史・文化・言語に関する課題を示して論述させます。)	センター試験	100	※100 (100×1)				100				300	
	地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1	<input type="checkbox"/>		個別学力検査等								300		300	
	公民	「倫理・政治・経済」		<input type="checkbox"/>		計	100	100			100	300			600		
	数学	「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1	1又は2 (注1)		1つ 又は 2つ チェック											
	理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2	<input type="checkbox"/>													
	外国語	「英語」(注2) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1	<input type="checkbox"/>		1つ チェック											
	計	〔3教科3科目〕又は〔3教科4科目〕				<input type="checkbox"/> 計 科目											
人間社会 学 域	国語	「国語」		<input type="checkbox"/> 必須	その他 小論文 (広く社会・文化に関する課題を示して論述させます。)	センター試験	200	※200 (100×2)			200	100	250			950	
	地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1 1又は2	<input type="checkbox"/>		個別学力検査等							600		600		
	公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理・政治・経済」	から2 (注3)	1		2つ チェック	計	200	200			200	100	250	600	1550	
	数学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1	<input type="checkbox"/> 必須 と <input type="checkbox"/>		1つ チェック											
	理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2	<input type="checkbox"/>		2つ チェック											
	外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1	<input type="checkbox"/>		1つ チェック											
	計	〔5教科8科目〕又は〔6教科8科目〕				<input type="checkbox"/> 計 科目											

大学入試センター試験で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等(「外国語」については「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。)を受験しなければ、出願無資格者とします。その場合は、個別学力検査等を受験することはできません。また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格とします。

【人文学類(後期日程)】 注意事項

大学入試センター試験において、「地理歴史」「公民」の第1解答科目が指定した科目以外の場合は、「地理歴史」「公民」の第2解答科目の成績を利用せず、指定した教科・科目の範囲で高得点の順に他教科の成績を利用します。ただし、「理科」については、「基礎を付した科目」2科目の合計得点を利用します。

(注1) 大学入試センター試験において、「地理歴史」「公民」、「数学」、「理科」から2科目となるのは、「理科」から「基礎を付した科目」2科目の場合又は「基礎を付していない科目」2科目の場合のみです。

(注2) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、42ページ「1 入学者選抜方法等 (3) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

【法学類(後期日程)】 注意事項

(注3) 大学入試センター試験において、「地理歴史」「公民」は、次のいずれかの組合せとします。

「地理歴史」から2科目又は「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目

学域・学類等	大学入試センター試験の利用教科・科目名		大学入試センター試験 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								そ の 他			
	教 科	科 目 名 等		教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・ 口述試験	配点 合計	
人間社会 学 域	地域創造学類	国 語	「国語」	<input type="checkbox"/>	その他 小論文 (広く地域・社会・文化に対する 課題を示して論述させます。)	センター試験	※200 (100×2)							200	大学入試センター試験で、 志望する学域・学類等が課 すすべての教科・科目等 (「外国語」について「英語」 を選択する場合は、リスニ ングテストを含む。)を受験 しなければ、出願無資格者 とします。その場合は、個 別学力検査等を受験するこ とはできません。 また、個別学力検査等で、 志望する学域・学類等が課 す教科・科目等のすべてを 受験しなければ、失格とし ます。		
		地理歴史	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	から1		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	個別学力検査等						400	400			
			公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	計	200					400		600	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1		から2又は3 (注1)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	2つ 又は 3つ チェック									
			理 科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		から2	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	又は									
		外 国 語		「英語」(注2) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」		から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	又は									
計	〔2教科2科目〕又は〔2教科3科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目														
国 際 学 類	国 語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	その他 小論文 (広く社会・文化に関する課題に ついて論述させます。英文も出 題します。)	センター試験	200	※200 (100×2)				200		600				
	地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1又は2		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	個別学力検査等						600	600				
		公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」		から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	計	200	200				200	600	1200		
	外 国 語	「英語」(注4) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1つ チェック											
		計	〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕		<input type="checkbox"/> 計 科目												

【地域創造学類（後期日程）】注意事項

大学入試センター試験の「地理歴史」「公民」については、第2解答科目の成績は利用せず、指定した教科・科目の範囲で高得点の順に他教科の成績を利用します。ただし、「理科」については、「基礎を付した科目」2科目の合計得点又は「基礎を付していない科目」の第1解答科目の得点のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。

(注1) 「国語」、「地理歴史」「公民」、「数学」、「理科」、「外国語」から3科目となるのは、「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他教科の1科目の場合のみです。

(注2) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、42ページ「1 入学者選抜方法等 (3) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

【国際学類（後期日程）】注意事項

(注3) 大学入試センター試験において、「地理歴史」「公民」は、次のいずれかの組合せとします。

「地理歴史」から2科目又は「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目

(注4) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、42ページ「1 入学者選抜方法等 (3) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								そ の 他				
	教科	科目名等	大学入試センター試験 受験科目チェック欄	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文		面接・ 口述試験	配点 合計		
理工学域	数物科学類	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	数 学 理 科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 物理基礎・物理	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900		
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			個別学力検査等				300	300					600	
		公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック	計	200	100		500	500	200				1500
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック											
		理 科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			2つ チェック											
		外国語	「英語」 <sup>(注1)</sup> 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック											
		計	〔5教科7科目〕				<input type="checkbox"/> 計 科目											
理工学域	物質化学類	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	理 科	化学基礎・化学	センター試験	50	※50 (50×1)		100	100	100			400		
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			個別学力検査等				400					400		
		公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック	計	50	50		100	500	100			800	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック											
		理 科	「物理」 と 「化学」	<input type="checkbox"/> 必須 と <input type="checkbox"/> 必須														
		外国語	「英語」 <sup>(注2)</sup> 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック											
		計	〔5教科7科目〕				<input type="checkbox"/> 計 科目											

大学入試センター試験で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等〔「外国語」について「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。〕を受験しなければ、出願無資格者となります。その場合は、個別学力検査等を受験することはできません。  
また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。

【数物科学類（後期日程）】 注意事項

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、42ページ「1 入学者選抜方法等 (3) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

【物質化学類（後期日程）】 注意事項

(注2) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、42ページ「1 入学者選抜方法等 (3) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								そ の 他			
		教科	科 目 名 等	大学入試センター試験 受験科目チェック欄	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		小論文	面接・ 口述試験	配点 合計
理工学域	地球社会基盤学類	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B	センター試験	50	※50 (50×1)	200	200	200			700		
		地理 歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			個別学力検査等								300		
		公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック	計	50	50	500	200	200			1000	
		数学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック										
		理科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			2つ チェック										
		外国語	「英語」 <sup>(注1)</sup> 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック										
		計	〔5教科7科目〕				<input type="checkbox"/> 計 科目										
医業保健 学 域	保 健 学 類 看 護 学 専 攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻	国語	「国語」	<input type="checkbox"/> 必須	その他	面接 (多面的な試問を行い、勉学意欲 と資質適性を評定します。)	センター試験	200	※100 (100×1)	200	200	200			900		
		地理 歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック	個別学力検査等							200	200	
		公民	「倫理、政治・経済」	<input type="checkbox"/>				計	200	100	200	200	200		200	1100	
		数学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック	放射線技術科学専攻	センター試験	100	※100 (100×1)	200	400	200			1000
		理科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			2つ チェック	個別学力検査等								400	400
		外国語	「英語」 <sup>(注2)</sup> 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			1つ チェック	計	100	100	200	400	200		400	1400	
		計	〔5教科7科目〕				<input type="checkbox"/> 計 科目										

【地球社会基盤学類（後期日程）】 注意事項

(注1) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、42ページ「1 入学者選抜方法等 (3) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

【保健学類（後期日程）】 注意事項

(注2) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、42ページ「1 入学者選抜方法等 (3) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

後期一括入試

学域・学類等	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								そ の 他				
	教科	科 目 名 等	大学入試センター試験 受験科目チェック欄	教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題		面接・ 口述試験	配点 合計		
後期一括	文系後期一括	国語	「国語」	<input type="checkbox"/>	その他 総合問題 (英文を含みます。)	センター試験							200			400		
		地理 歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」 } から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													2つ ～4つ チェック	個別学力検査等
		公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」 } から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		計							200	200	300	700		
		数学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 } から2 (注1)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>													理 科	物理基礎・物理、 化学基礎・化学 } から1
		理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 } から1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 又は <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		個別学力検査等												
		外国語	「英語」 <sup>(注2)</sup>	<input type="checkbox"/> 必須													計	
	計	[3教科3科目]、[3教科4科目] 又は[3教科5科目]	<input type="checkbox"/> 計 科目	計														
理系後期一括	数学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」	<input type="checkbox"/> 必須 と <input type="checkbox"/> 必須														理 科	物理基礎・物理、 化学基礎・化学 } から1
	外国語	「英語」 <sup>(注3)</sup>	<input type="checkbox"/> 必須	個別学力検査等														
	計	[2教科3科目]	<input type="checkbox"/> 計 科目														計	

大学入試センター試験で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等(「外国語」については「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。)を受験しなければ、出願無資格者とします。その場合は、個別学力検査等を受験することはできません。  
また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格とします。

【文系後期一括(後期日程)】 注意事項

大学入試センター試験の「地理歴史」「公民」を2科目受験している場合、第1解答科目の成績を優先して利用します。よって、第2解答科目の成績を利用するのは、指定した教科・科目の範囲(「外国語」を除く)で高得点の上位2科目が「地理歴史」「公民」の第1解答科目及び第2解答科目である場合のみです。

(注1) 大学入試センター試験において、「国語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」から3科目となるのは、「数学」2科目と他教科1科目の場合又は「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他教科1科目の場合のみです。また、「国語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」から4科目となるのは、「数学」2科目と「理科」の「基礎を付した科目」2科目の場合のみです。

(注2) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、42ページ「1 入学者選抜方法等 (3) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

【理系後期一括(後期日程)】 注意事項

(注3) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、42ページ「1 入学者選抜方法等 (3) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

(4) 採点・評価基準（個別学力検査等）

《論述・記述問題，面接，口述試験》

学 域 ・ 学 類 等		教 科 等	留 意 し て い る 点 等
人間社会 学域	人 文 学 類	小 論 文	読解力，資料の理解力，論理的思考力，日本語の表現力などを総合的に評価します。
	法 学 類	小 論 文	日本語による資料を提示し，理解力，論理的思考力，表現力等を評価します。
	地 域 創 造 学 類	小 論 文	論理的思考力，分析力，表現力及び各課題に対する問題意識，知識，関心等を総合的に評価します。
	国 際 学 類	小 論 文	日本語及び英語による資料を提示し，読解力，分析力，論理的思考力及び日本語による表現力等を評価します。
理工学 域	数 物 科 学 類	数 学	数学に対する基本的な理解度と正解に至るまでの考え方及びそれを表現する力を評価します。
		物 理	物理に対する基本的な理解度を見ます。
	物 質 化 学 類	化 学	化学に対する知識と理解度を見ます。
	地 球 社 会 基 盤 学 類	数 学	数学に対する基本的な理解度と正解に至るまでの考え方及びそれを表現する力を評価します。
健薬保 学域	保 健 学 類	面 接	医療人としての適性，勉学に対する意欲，問題に対する理解力，自らの考えをわかりやすくまとめる表現力等を評定し，それらを総合評価します。
後期 一括	文 系 後 期 一 括	総合問題	日本語及び英語による資料を提示し，読解力，分析力，論理的思考力及び日本語による表現力等を総合的に評価します。
	理 系 後 期 一 括	物 理	物理に対する基本的な理解度を見ます。
		化 学	化学に対する知識と理解度を見ます。

(5) 試験期日

令和2年3月12日(木)

(6) 試験時間割

学 域 ・ 学 類 等		試 験 時 間 割		
人間社会 学域	人 文 学 類	小論文	9：30～12：30	
	法 学 類	小論文	9：30～11：30	
	地 域 創 造 学 類	小論文	9：30～12：30	
	国 際 学 類			
理工学 域	数 物 科 学 類	理科（物理）	9：30～11：30	数 学 13：00～15：00
	物 質 化 学 類	理科（化学）	9：30～11：30	
	地 球 社 会 基 盤 学 類			数 学 13：00～15：00
健薬保 学域	保 健 学 類	面 接	9：30～（詳細は，受験票に記載のURLから「試験場案内」及び「受験上の注意」等をダウンロードし，確認してください。）	
一後 括期	文 系 後 期 一 括	総合問題	9：30～12：30	
	理 系 後 期 一 括	理 科	9：30～11：30	

(7) 試験場

- ① 試験場は下記の予定です。ただし，志願者数によってキャンパスを変更することがあります。  
人間社会学域，理工学域，後期一括入試（文系後期一括，理系後期一括）：角間キャンパス  
健薬保健学域（保健学類）：宝町・鶴間キャンパス
- ② 「試験場案内」及び「受験上の注意」については，受験票に記載のURLからダウンロードしてください。  
受験票印刷可能日 令和2年2月11日(火・祝)
- ③ 令和2年3月11日(水)午後1時以降，キャンパス内に試験場への経路案内及び試験場入口（玄関）に試験場案内等を掲示します。
- ④ 風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し，日程，到着時間等に十分ゆとりをもって行動してください。

## 2. 合格者発表

後期日程合格者の受験番号を学内掲示場及び金沢大学（入試情報）Webサイトにおいて発表します。

なお、合格者には合格通知書、入学手続要項を送付します。

**発表日時** 令和2年3月21日（土）午前10時（予定）

**発表場所** 大学会館前掲示場（角間キャンパス北地区） 54～55ページのキャンパスマップ参照

金沢大学（入試情報）Webサイト（<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>）には午前10時頃の掲載予定  
電話等による合否の照会には応じません。

## 3. 入学手続

入学手続期間、手続方法等の主な概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続要項」を確認してください。

### (1) 入学手続期間

令和2年3月27日（金）まで（厳守）

### (2) 提出書類

- ① 大学入試センター試験受験票（入学手続まで大切に保管しておいてください）
- ② 卒業証明書（卒業見込みの資格で出願した者のみ）
- ③ 出願時に提出した英語外部試験の成績証明書等の原本（英語外部試験の成績を利用した者のみ）

### (3) 提出先

金沢大学学生部入試課

### (4) 入学料

282,000円（予定）

（注）上記の納入金額は予定額であり、入学時に入学料を改定した場合には、改定時から新入学料を適用します。なお、授業料の納入については、50ページ「4. 授業料の納入」を確認してください。

### (5) 入学手続方法

郵送又は持込みとします。郵送の場合は3月26日（木）必着、持込みの場合は3月27日（金）のみ受付します。

### (6) 留意事項

- ① 本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。）に入学手続を行うことはできません。
- ② 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ③ 他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。）に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできません。
- ④ 「前期日程」に合格し、3月15日（日）までに入学手続を行った者は、「後期日程」を受験してもその合格者としません。
- ⑤ 入学時に必要な経費並びに入学料免除制度及び授業料免除制度については、50～51ページを確認してください。
- ⑥ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

## 4. 欠員補充の方法

40ページを確認してください。

## 1. 入学時に必要な経費

### (1) 入学金

282,000円（予定）

（注）上記の金額は予定額であり，入学時に入学金を改定した場合には，改定時から新入学金を適用します。

### (2) その他必要な経費

学域・学類等	保険期間	納入すべき保険料	内訳	
			学研災	付帯賠償
人間社会学域（全学類） 理工学域（全学類） 医薬保健学域（薬学類（※1）・創薬科学類） 総合教育部（文系（※2））	4年間	4,660円	3,300円	1,360円
総合教育部（理系（※2，3））	1年間	1,340円	1,000円	340円
医薬保健学域	医学類	6年間	4,800円	3,000円
	保健学類	4年間	3,370円	2,000円

詳細は合格通知書とともに送付する「入学手続要項」を確認してください。

※1 薬学類に進んだ場合は，5～6年次に別途保険料が必要です。

※2 文系後期一括入試及び理系後期一括入試の入学者は，1年次に総合教育部に所属します。

※3 総合教育部（理系）の入学者は，以下のとおり，2年次進級前に配属決定学類の標準就業年限に応じた加入手続きが別途必要です。

学域・学類等	保険期間	納入すべき保険料	内訳	
			学研災	付帯賠償
医学類へ配属	5年間	6,630円	4,130円	2,500円
医学類以外の学類へ配属	3年間	3,620円	2,600円	1,020円

## 2. 学生教育研究災害傷害保険（学研災）及び学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）

金沢大学では，学生生活における事故に備え，学研災及び付帯賠償への加入を義務付けています。いずれの保険も，全国の大学・短期大学の学生を対象とし，公益財団法人日本国際教育支援協会が取り扱っている補償制度です。

学 研 災：国内外において，①教育研究活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故，②通学中，学校施設等での移動中の事故によって身体に被る傷害（ケガ）に対して保険金が支払われます。

付帯賠償：国内外において，正課，学校行事，課外活動又はその往復において，他人にケガを負わせた場合，他人の財物を損壊した場合等により，法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われます。付帯賠償と学研災の両方への加入が必須です。

## 3. 入学金免除・入学金徴収猶予

大学等における修学の支援に関する法律の公布・施行により，令和2年度から制度を大幅に変更する予定です。詳細は，別途本学Webサイトでお知らせします。

## 4. 授業料の納入

授業料 前期（第1・第2クォーター）分 267,900円（予定）（年額 535,800円（予定））

授業料の納入方法は，本学指定の金融機関が，学生等の開設した預金口座から自動的に授業料を口座振替する「預金口座振替制度」としてあります。合格通知書とともに送付するパンフレット「授業料の納入について」を確認し，直ちに手続きしてください。

（注）上記の金額は予定額であり，入学時または在学中に授業料を改定した場合には，改定時から新授業料を適用します。

## 5. 授業料免除

大学等における修学の支援に関する法律の公布・施行により、令和2年度から制度を大幅に変更する予定です。詳細は、別途本学Webサイトでお知らせします。

## 6. 金沢大学学生特別支援制度

本学に在籍する学生の学習・研究意欲を向上させるとともに、学生生活において国際交流・社会貢献に対する意欲を引き出すことを目的とした、**本学独自の支援制度**があります。

なお、制度の詳細は次のWebサイトを参照し、各担当係に問い合わせてください。

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/special\\_support](https://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/special_support)



## 7. 奨学金

本学で扱っている奨学金には、日本学生支援機構、地方公共団体及び民間育英団体の奨学金があります。主に学業成績が優秀かつ学資支弁の困難な学生を対象とし、学力・家計状況等を審査の上、貸与（または給付）の可否が決定されます。

### (1) 日本学生支援機構の奨学金

大学等における修学の支援に関する法律の公布・施行により、令和2年度から制度が大幅に変更される予定です。詳細は、別途本学Webサイトでお知らせします。

### (2) その他の奨学金

地方公共団体や民間企業・財団等の奨学金があります。大学へ募集があった奨学金は本学Webサイト、アキャンサスポータル等でお知らせしますので、希望する場合は、入学後に本学Webサイト等を確認し、案内に従って申し込んでください。

また、本学Webサイト等でお知らせする奨学金以外にも、各種団体が直接、個人応募を受け付けている場合があります。

## 8. 学生留学生宿舎

本学には、国際交流を促進しグローバル人材を育成することを目的に、外国人留学生と日本人学生が1つのユニット（男女別）で生活するシェアハウス型の学生寄宿舎「北溟」があります。

「北溟」は空室がある場合に限り、入居者を募集します。入居申請方法等詳細は、金沢大学Webサイトを確認してください。

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/livelihood/residence>



宿 舎 名	北 溟（ほくめい）		
所 在 地	〒920-1192 金沢市角間町		
設 置 年 月	平成29年 4月		
定 員	外国人留学生 120名 日本人学生 80名 ※1ユニット：外国人留学生3名・日本人学生2名		
入 居 期 間	原則2年間		
募 集 人 数	男子 若干名 ・ 女子 若干名 （ユニットは男女別）		
個 室	約10㎡ ベッド・机・椅子・本棚・クローゼット等		
ユニット内共用部分	リビングダイニング・キッチン・トイレ・洗面洗濯・シャワー		
生 活 費	寄 宿 料	月額	26,800円
	諸 経 費	月額	9,500円 ※家具家電設備・光熱水費等
	合 計	月額	36,300円

## 9. 学生寮

本学には、学生寮が2棟ありますが、いずれも令和5年3月で閉寮します。閉寮までの退寮を確約した者のみ入寮を許可します。

男子寮：泉学寮（せんがくりょう）

所在地 / 〒921-8031 金沢市野町5-8-10

定員 / 168名 ※居室は各室2人部屋

募集人数 / 約70名

寄宿料 / 月額 700円

諸経費 / 月額 約15,000円

※光熱水費、夕食弁当（希望者のみ）等

女子寮：白梅寮（はくばいりょう）

所在地 / 〒921-8034 金沢市泉野町2-13-1

定員 / 140名 ※居室は各室2人部屋

募集人数 / 約50名

寄宿料 / 月額 700円

諸経費 / 月額 約8,000円

※光熱水費等

### (1) 入寮願の請求

下記のいずれかの方法で入寮願を取り寄せてください。

- ① 金沢大学Webサイトからダウンロード

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/livelihood/residence>



- ② 郵送による請求

返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm 受信者の郵便番号・住所・氏名を明記し、94円切手を貼付）を学生支援課学生相談係あて送付してください。

### (2) 入寮願の提出期間等

区分	提出期間	提出先	選考結果の通知
前期日程	令和2年2月12日(水)～2月18日(火)(必着)	53ページの「12.申請書類等の請求及び照会先」参照	令和2年3月9日(月)
後期日程	令和2年3月2日(月)～3月6日(金)(必着)		令和2年3月23日(月)

提出期間後の入寮希望者については、欠員がある場合に限り、入寮願の提出が可能です。提出期間が過ぎている場合は学生支援課学生相談係まで欠員の有無を確認してください。

#### 【入寮願請求先及び欠員問合せ先】

53ページの「12.申請書類等の請求及び照会先」を確認してください。

## 10. 保健管理センター

保健管理センターでは、学生の心身の健康の増進を図るため、医師、カウンセラー（公認心理師・臨床心理士）、看護師、保健師等によって、定期健康診断、健康相談、学生相談、応急手当等を行っています。また、学生の心身の成長を支援する学生支援プログラムを提供しています。

## 11. 携帯型パソコンの準備

### (1) 本学での学修、研究生生活

インターネットが広く普及した現代のネットワーク社会で活躍できるように、本学の教育目標では、理系・文系を問わず「高度情報化社会に対応できる情報処理の基礎能力・総合力を持った人材育成」を重視しています。キャンパス内のほとんどの場所で無線LAN整備が完了し、ポータルサイト「アカンサスポータル」をネットワーク利用の入り口としています。

入学者はそれぞれ携帯型パソコンを準備することで、ネットワークに接続してアカンサスポータルに入り、パソコンから履修登録、授業での教員との連絡、e-learning教材による自習、レポートの提出、成績確認等を行います。更に、健康診断結果や、就職支援をはじめ学生生活全般に関する情報の取得や連絡をネットワークを介して行います。入学後すぐに全学生必修科目「情報処理基礎」を開講し、受講者は各自の携帯型パソコンを教室でネットワークに接続し、情報ネットワークの安全な利用方法、学類毎に必要なソフトウェアの利用方法を学びます。

特別な事情がない限り、本学入学時までに携帯型パソコンを準備してください。

## (2) 携帯型パソコンの条件

令和2年度入学者のための携帯型パソコンの必要条件、金沢大学生協から提供予定の金沢大学オリジナルモデルの案内については、合格通知の際にお知らせします。必要条件を満たしているパソコンを所有する場合には新たにパソコンを購入する必要はありませんが、新規購入を検討する場合には、合格通知に同封の情報を確認し、条件を満たすものを購入してください。

## (3) マイクロソフト包括（全学）ライセンス

本学ではマイクロソフト社のソフトウェア（Office等）についての包括（全学）ライセンス契約を令和2年度も継続する予定です。この場合、本学の新入学（編入）者は、Officeソフトウェア一式を無償で使用できますので、購入の必要はありません。

## (4) 携帯型パソコンの無償貸与

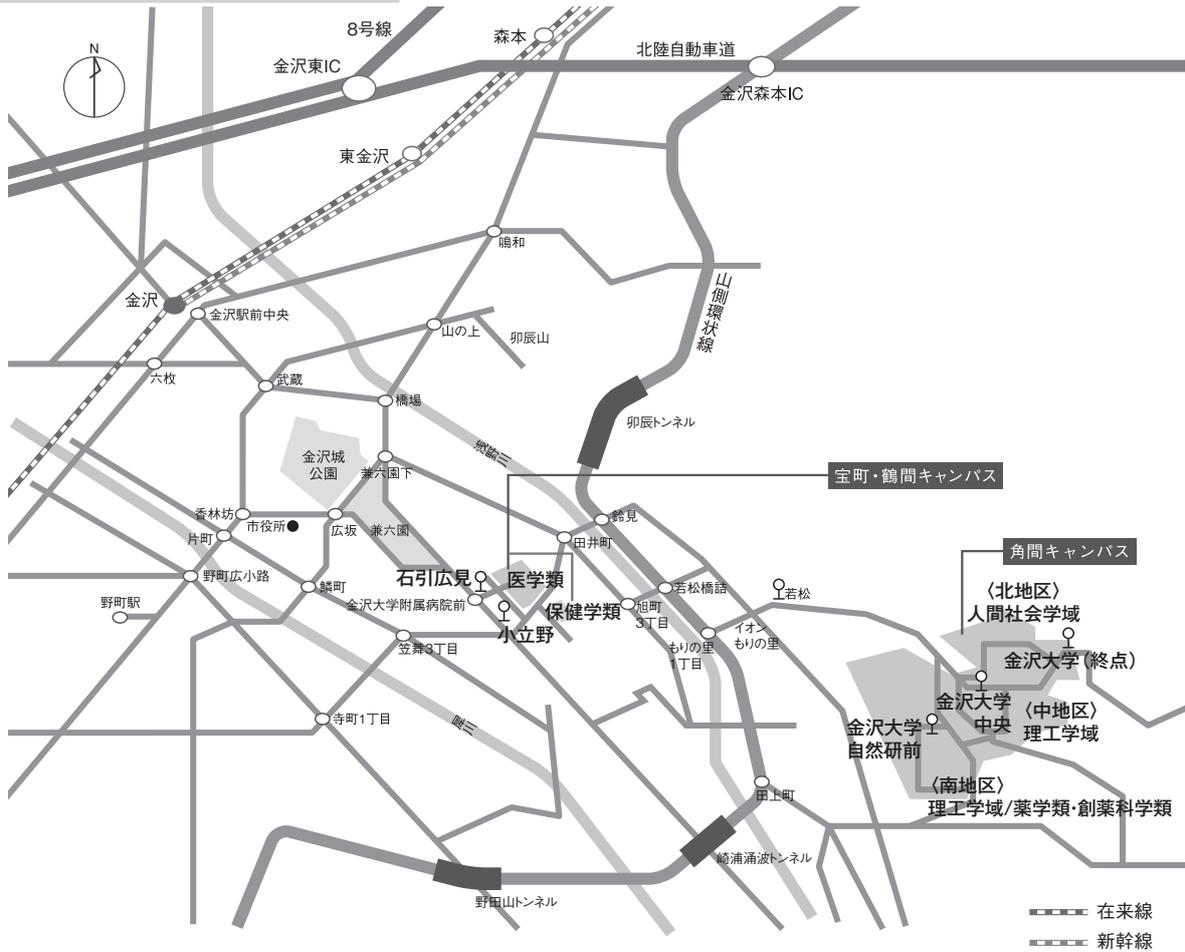
経済的事情により携帯型パソコンを用意することが困難な場合には、大学所有のパソコンを半年間（1回のみ更新可能）無償貸与します。入学料免除申請者及び入学料徴収猶予申請者を対象学生としますので、これらの申請時に貸与の申し込みを行ってください。

## 12. 申請書類等の請求及び照会先

項 目		請 求 及 び 照 会 先	
○入学料免除 ○入学料徴収猶予 ○授業料免除		〒920-1192 金沢市角間町	学生部学生支援課 学生支援係 (本部棟2階) 電話 076-264-5164 Email stsien@adm.kanazawa-u.ac.jp
○奨学金	私費外国人 留学生を除く		国際部留学企画課 留学支援係 (本部棟3階) 電話 076-264-5294 Email ryukou@adm.kanazawa-u.ac.jp
	私費外国人 留学生		
○学生留学生宿舍			学生部学生支援課 学生相談係 (本部棟2階) 電話 076-264-5167 Email gakuryo@adm.kanazawa-u.ac.jp
○学 生 寮			保健管理センター事務室 (本部棟1階) 電話 076-264-5254 Email soudan@adm.kanazawa-u.ac.jp
○学生教育研究災害傷害保険 及び学研災付帯賠償責任保険			

# キャンパスマップ

## 1. 金沢大学所在地略図



キャンパス名	学域等	交通機関
① かくま 角間	事務局 (学生部) 理工学域 医薬保健学域 (薬学類・創薬科学類)	JR 金沢駅兼六園口 (東口) バスターミナルから北陸鉄道バス 6番乗り場発 乗車: 91 (平日のみ), 93, 94, 97 金沢大学行き 下車: 金沢大学自然研前 (JR 金沢駅から約35分)
	人間社会学域	JR 金沢駅兼六園口 (東口) バスターミナルから北陸鉄道バス 6番乗り場発 乗車: 91 (平日のみ), 93, 94, 97 金沢大学行き 下車: 金沢大学 (終点) (JR 金沢駅から約40分)
② たからまち つるま 宝町・鶴間	医薬保健学域 (医学類・保健学類)	JR 金沢駅兼六園口 (東口) バスターミナルから北陸鉄道バス 7番乗り場発 (橋場町・兼六園下経由) 乗車: 11 東部車庫・金沢学院大学・金沢大学附属病院行き, 12 北陸大学・湯涌温泉行き 下車: 小立野, 石引広見 6番乗り場発 乗車: 13 湯谷原・医王山行き, 14 田上住宅行き 下車: 小立野 JR 金沢駅金沢港口 (西口) バスターミナルから北陸鉄道バス 5番乗り場発 (香林坊経由) 乗車: 10 東部車庫・金沢学院大学行き 下車: 小立野 (JR 金沢駅から約20分)

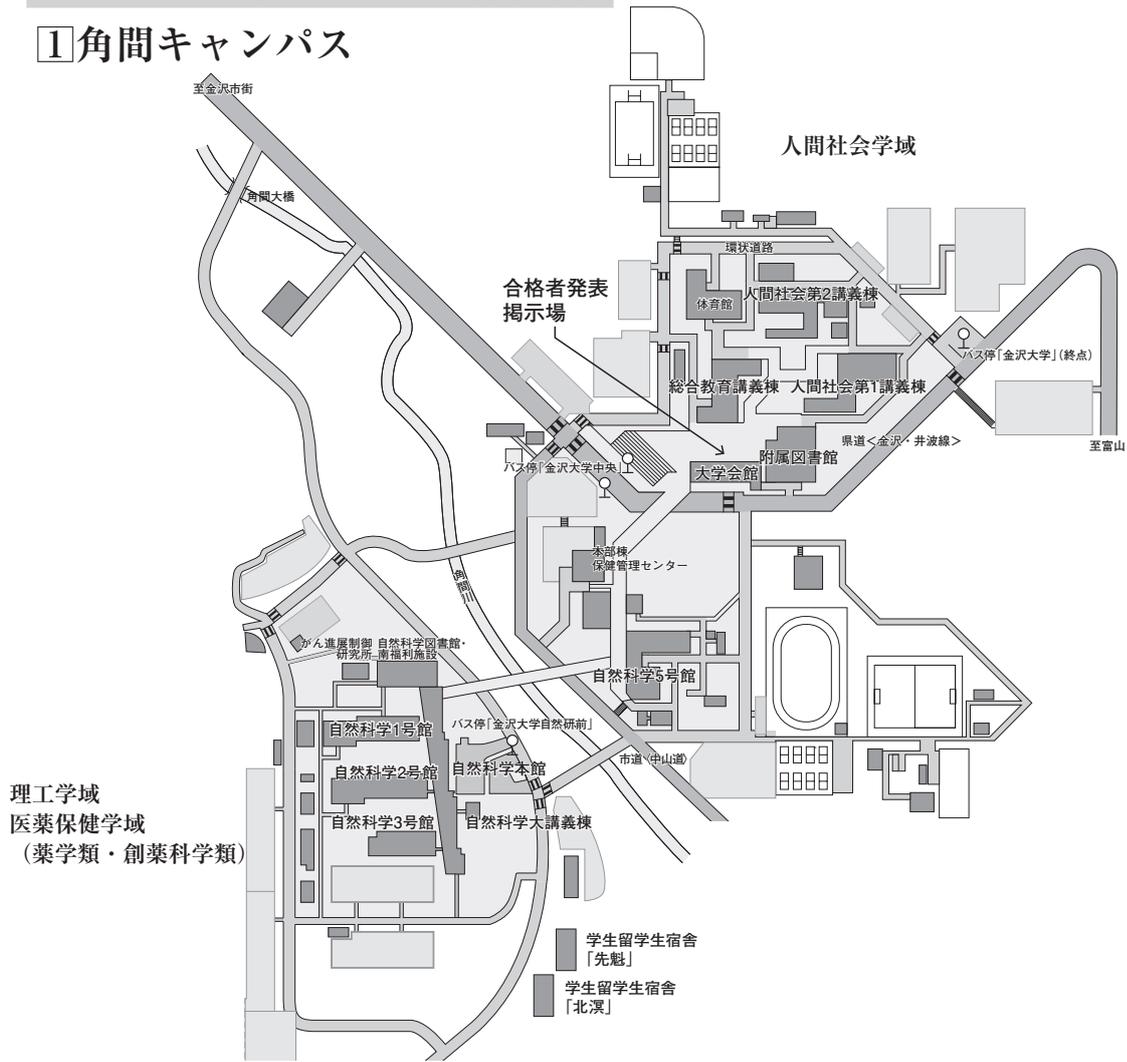
(注) 乗り場のあるバスターミナルを事前に確認した上で、利用してください。

金沢大学 (アクセス・キャンパスマップ) Web サイト (<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/access/>)

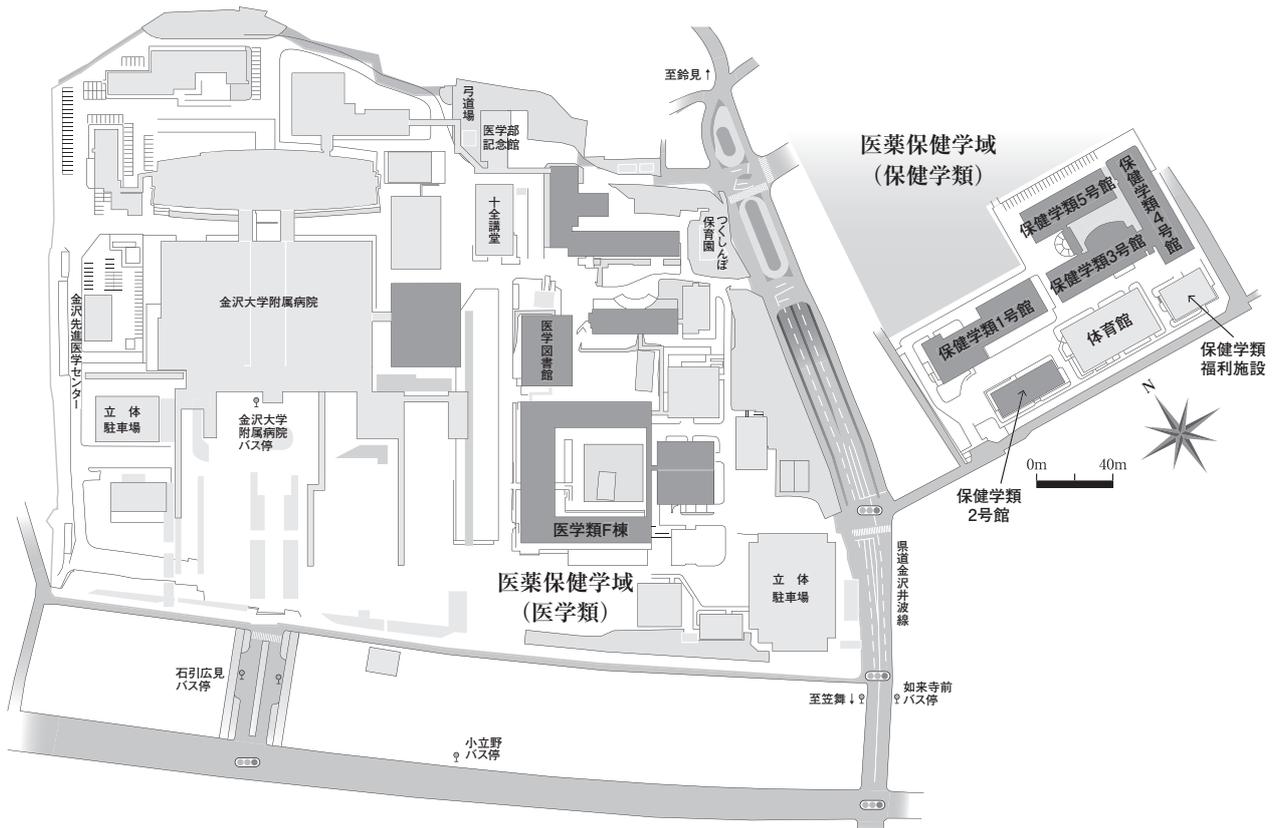


## 2. 金沢大学キャンパス配置図

### ①角間キャンパス



### ②宝町・鶴間キャンパス



キャンパスマップ